

朝霞市

子どもの日常生活に関するアンケート調査
(ヤングケアラー実態調査) 報告書

令和6年2月

朝霞市

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の対象	1
3. 調査の方法	1
4. 調査期間	1
5. 回収状況	1
6. 調査結果を見る上での注意事項	1
第2章 調査結果の詳細	2
I 小学生調査	2
1. 基本情報	2
（1）学年	2
（2）性別	2
（3）健康状態	3
（4）家族構成	4
2. ヤングケアラーの認知度	6
（1）ヤングケアラーの認知度	6
（2）ヤングケアラーを知った経緯	7
3. 家族や家庭について	8
（1）お世話をしている家族の有無	8

(2) お世話の内容	10
(3) お世話を始めた時期	11
(4) お世話をしている頻度	12
(5) お世話をしている時間	13
(6) お世話をしているために、やりたくてもできないこと	14
(7) お世話をしていることの負担感	15
(8) お世話をしていることについての相談状況	16
(9) お世話について相談したことが無い理由	18
(10) 学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援	19
(11) ヤングケアラーの自覚	20
4. その他（自由記述）	21
(1) 学校生活	21
(2) 友人関係	21
(3) 児童相談	21
(4) 家族関係	21
(5) 要望、求める支援	22
(6) その他	22
5. 国が実施した調査結果との比較	23
(1) ヤングケアラーの認知度	23
(2) 誰のお世話をしているか、お世話の内容	23

(3) お世話を始めた時期、頻度、時間	23
(4) お世話をしているためにやりたくてもできないこと、負担感	23
(5) お世話について相談したことが無い理由、必要な支援	23
Ⅱ 中学生調査	24
1. 基本情報	24
(1) 学年	24
(2) 性別	24
(3) 健康状態	25
(4) 家族構成	26
2. ヤングケアラーの認知度	28
(1) ヤングケアラーの認知度	28
(2) ヤングケアラーを知った経緯	29
3. 家族や家庭について	30
(1) お世話をしている家族の有無	30
(2) お世話の内容	32
(3) お世話を始めた時期	33
(4) お世話をしている頻度	34
(5) お世話をしている時間	35
(6) お世話をしているために、やりたくてもできないこと	36
(7) お世話をしていることの負担感	37

(8) お世話をしていることについての相談状況	38
(9) お世話について相談したことが無い理由	40
(10) 学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援	41
(11) ヤングケアラーの自覚	42
4. その他（自由記述）	43
(1) 学校生活	43
(2) 友人関係	43
(3) 家族関係	43
(4) 要望、求める支援	43
5. 国が実施した調査結果との比較	44
(1) ヤングケアラーの認知度	44
(2) 誰のお世話をしているか、お世話の内容	44
(3) お世話を始めた時期、頻度、時間	44
(4) お世話をしているためにやりたくてもできないこと、負担感	44
(5) お世話について相談したことが無い理由、必要な支援	44
第3章 調査結果取りまとめ、考察、今後の支援の方向性	45
1. 調査結果取りまとめ、分析	45
(1) ヤングケアラーの認知度	45
(2) ヤングケアラーの状況	46
(3) ヤングケアラーの世帯構成	47

(4) ヤングケアラーの自覚の有無	50
(5) ヤングケアラーの負担感	53
2. 朝霞市の状況	55
(1) ヤングケアラーの認知度	55
(2) 誰のお世話をしているか、お世話の内容	55
(3) お世話を始めた時期、頻度、時間	55
(4) お世話をしているためにやりたくてもできないこと、負担感	55
(5) お世話について相談したことが無い理由、必要な支援	56
3. 今後の支援の方向性について	57
(1) ヤングケアラー及び子どもの権利条約の周知啓発と理解促進	57
(2) ヤングケアラーを適切に把握し、つなぐための相談体制整備	57
(3) 関係機関との連携した支援	57
第4章 調査書	58

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本来大人が担うと想定される家事や家族のケアなどを日常的に行っている子ども「ヤングケアラー」の状況を把握し、保護者や子どもだけで困難を抱え込まずにすむよう、本市における支援のあり方を検討するとともに、第3期子ども・子育て支援事業計画策定の参考にする。

2. 調査の対象

市内公立小学校5年生から6年生(2, 500人)、市内公立中学校1年生から3年生(3, 325人)合計5, 825人(生徒数は令和5年5月1日現在の人数、調査期間中登校していない生徒は対象外)

3. 調査の方法

各小中学校を通じて、児童・生徒宛に調査依頼文、保護者宛に調査実施案内を配布。
児童・生徒本人がタブレット端末等で回答。

4. 調査期間

令和5年11月6日(月)から令和5年11月30日(木)まで

5. 回収状況

調査の対象者	対象者数	有効回収数	有効回収率
小学校5年生	1,273人	699件	54.9%
6年生	1,227人	621件	50.6%
中学校1年生	1,133人	271件	23.9%
2年生	1,088人	270件	24.8%
3年生	1,104人	356件	32.2%
全体	5,825人	2,217件	38.1%

6. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本調査は、個人が特定できないよう無記名で実施。
- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数。
- ・百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答(2つ以上選んでよい問)においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・調査結果を取りまとめ、考察するにあたり、以下の資料を参照した(「【参考】国調査」と表記。)
令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)
令和3年度子ども・子育て支援推進調査研究事業(株式会社日本総合研究所)

第2章 調査結果の詳細

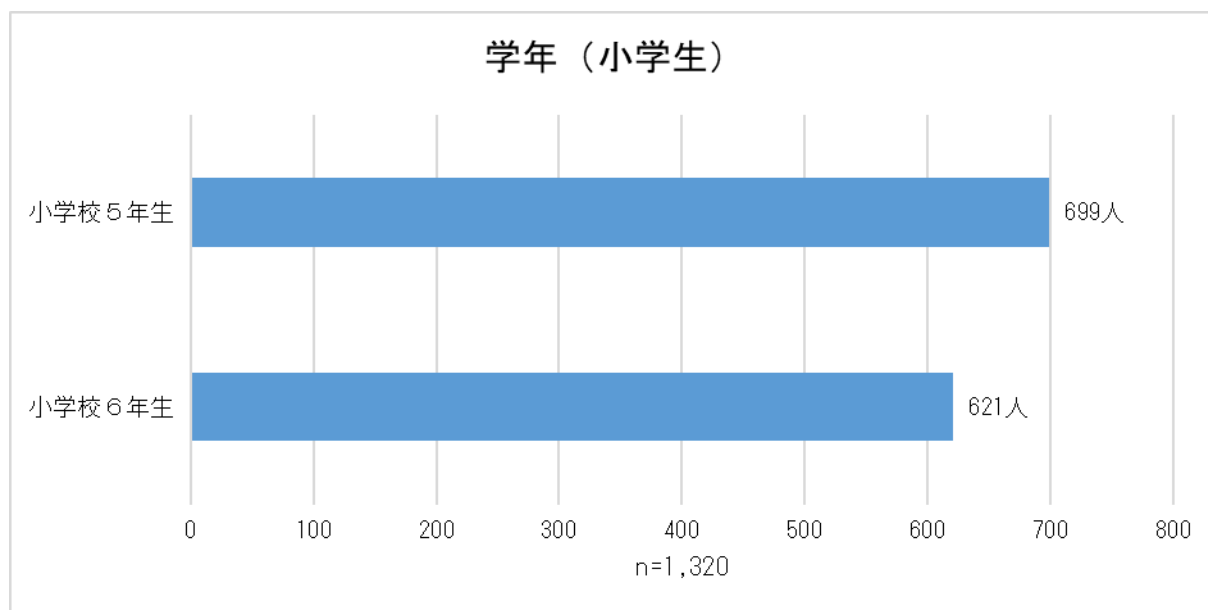
I 小学生調査

1. 基本情報

(1) 学年

問1 あなたの学年を教えてください。（あてはまるもの1つにチェック。）

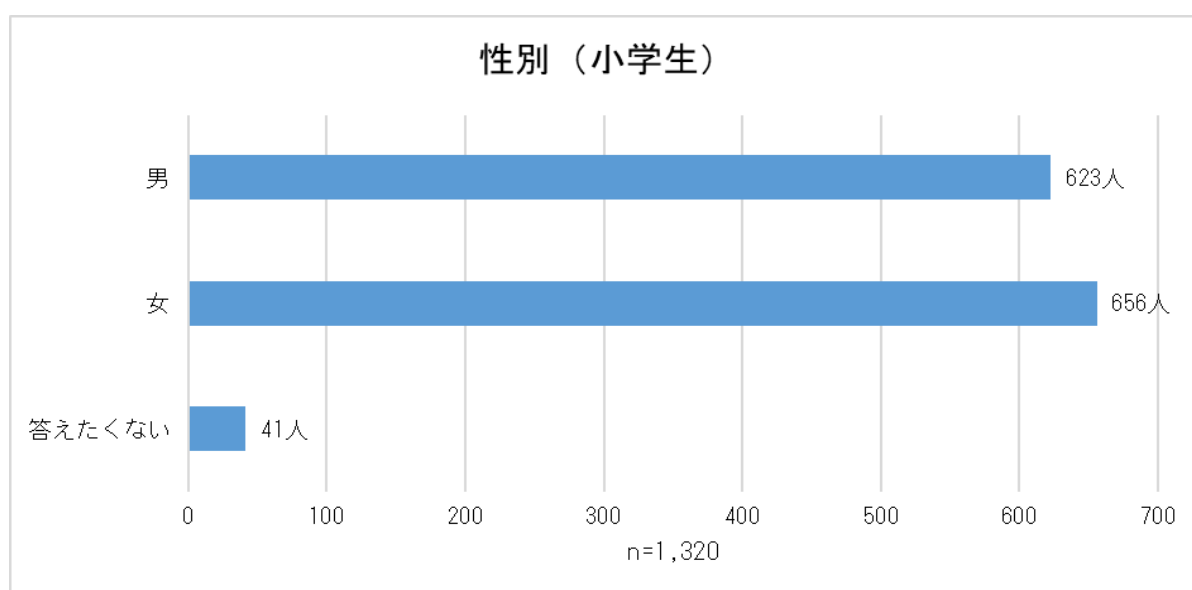
小学校5年生から6年生の回答者数1,320人（小学校5年生699人、6年生621人。）。



(2) 性別

問2 あなたの性別を教えてください。（あてはまるもの1つにチェック。）

男623人、女656人、答えたくない41人。

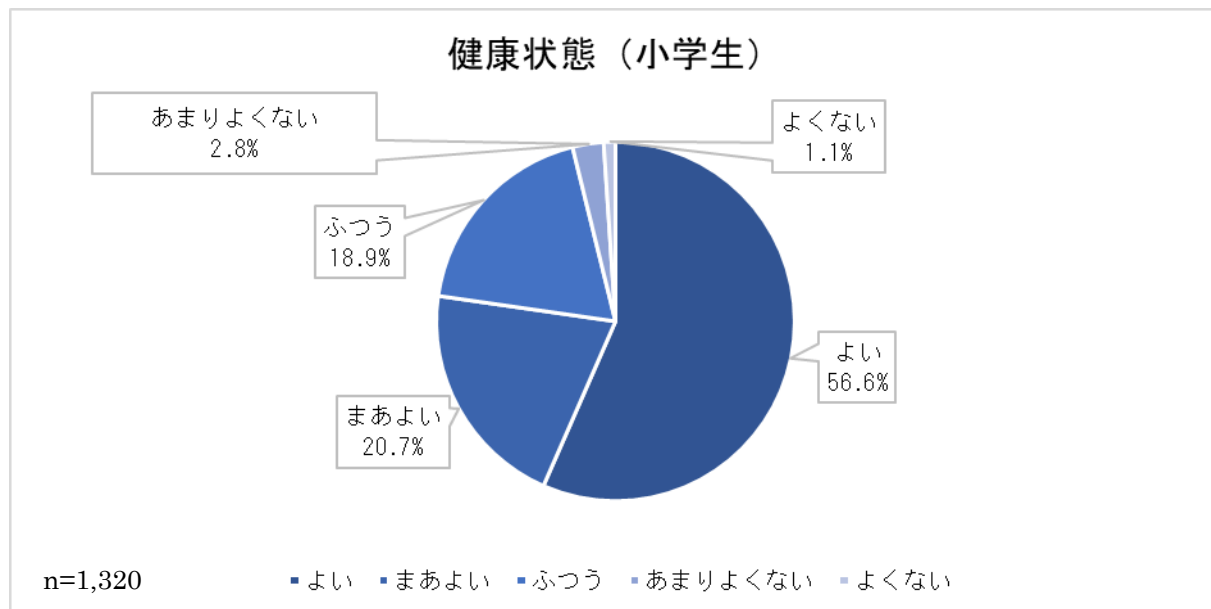


第2章 調査結果の詳細

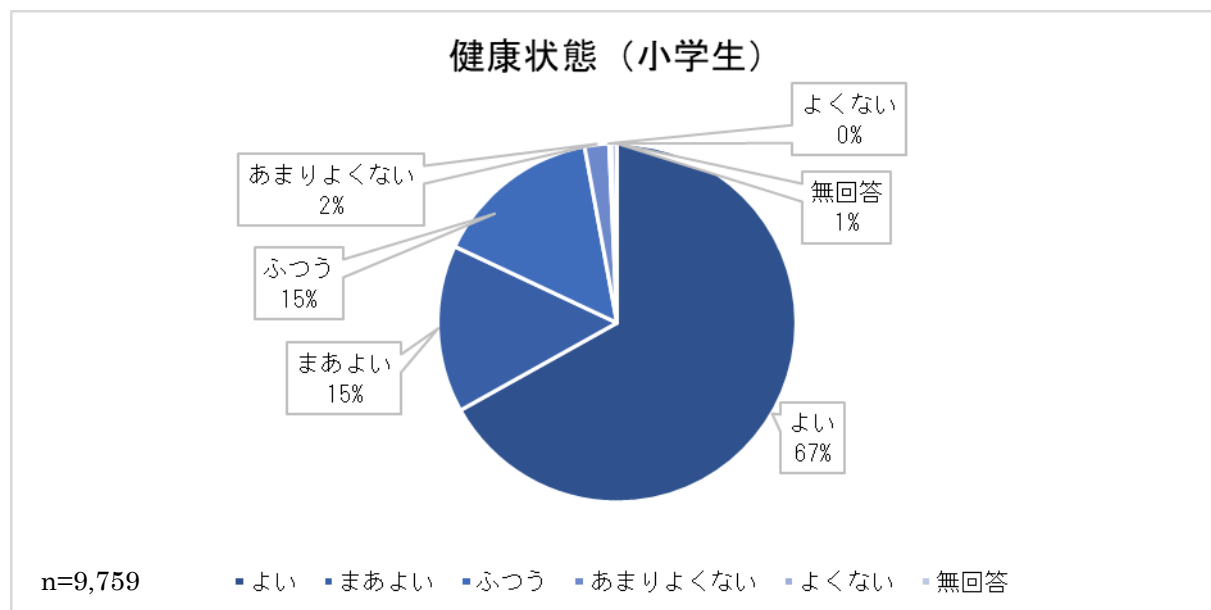
(3) 健康状態

問3 あなたの健康状態を教えてください。(あてはまるもの1つにチェック。)

よい747人、まあよい273人、ふつう249人、あまりよくない37人、よくない14人。



【参考】国調査 (令和3年度)



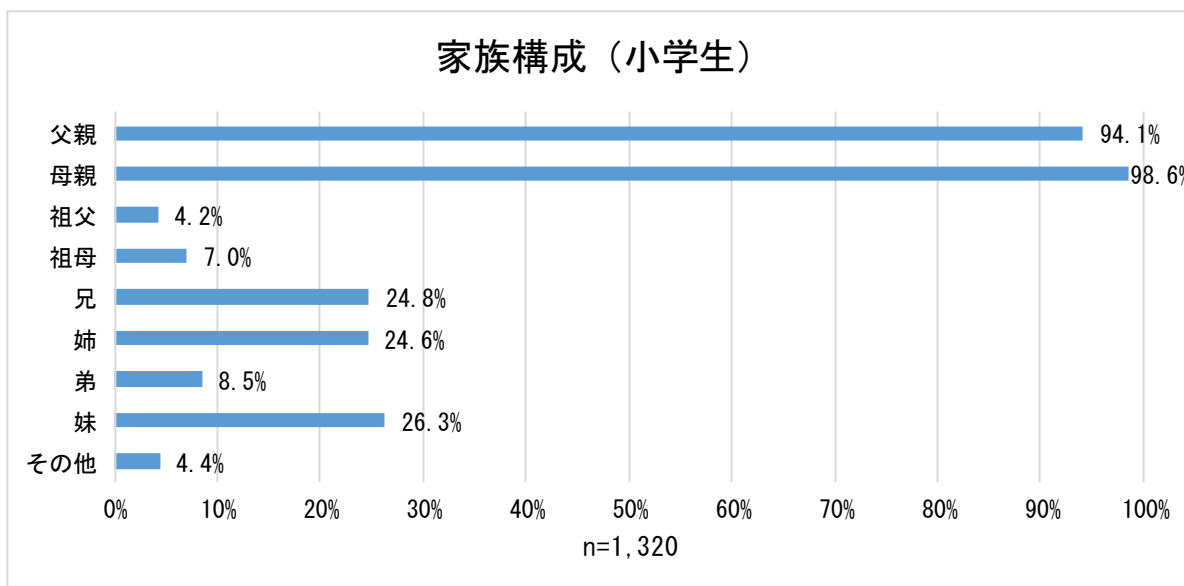
(4) 家族構成

問4 あなたと一緒に住んでいるのは誰ですか。(あてはまるもの全てにチェック。)

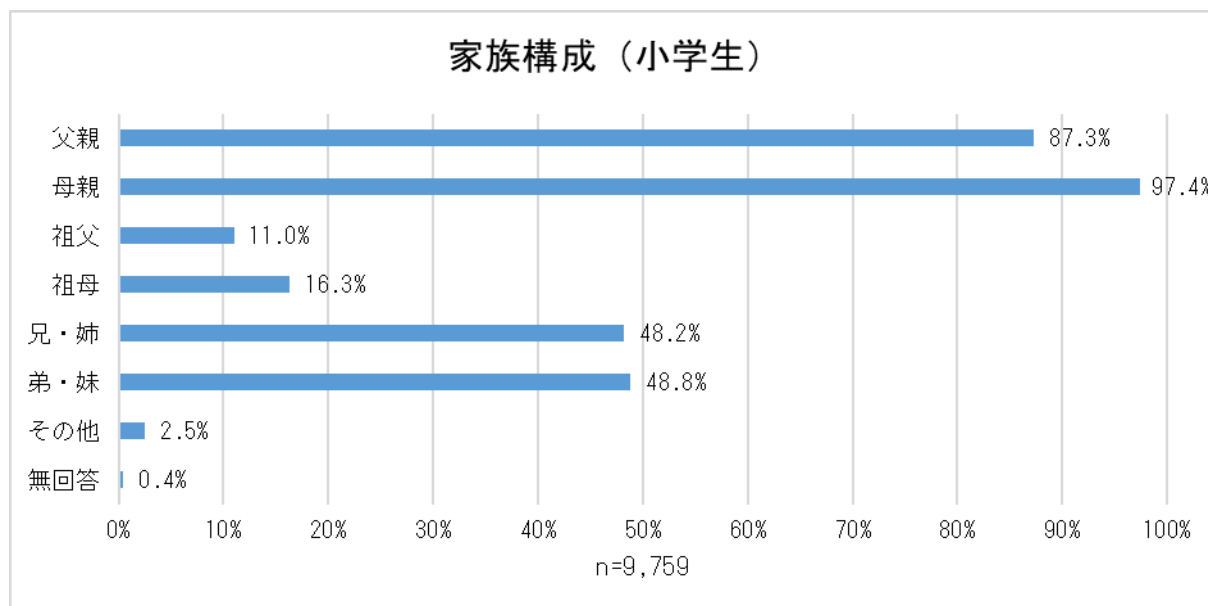
問5 「その他」を選択した方は、具体的な内容を教えてください。

「父親」1,242人、「母親」1,301人、「祖父」56人、「祖母」93人、「兄」327人、「姉」325人、「弟」349人、「妹」347人、「その他」58人。

「その他」には、「おじ」4人、「おば」4人の回答のほか、犬や猫などペットの回答がありました。



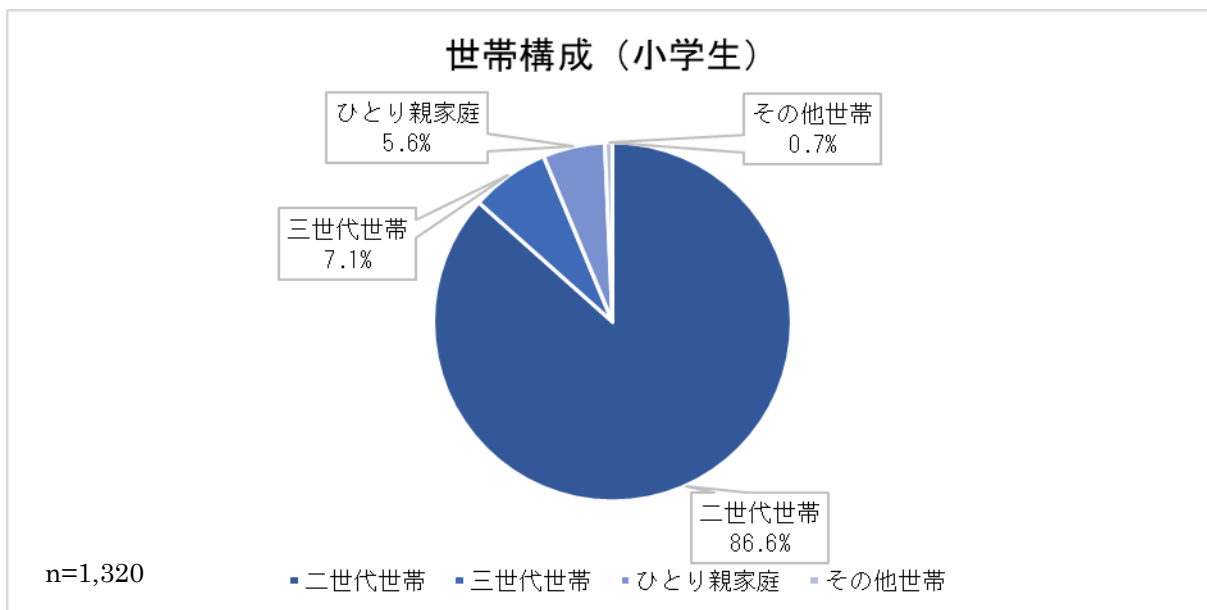
【参考】国調査（令和3年度）



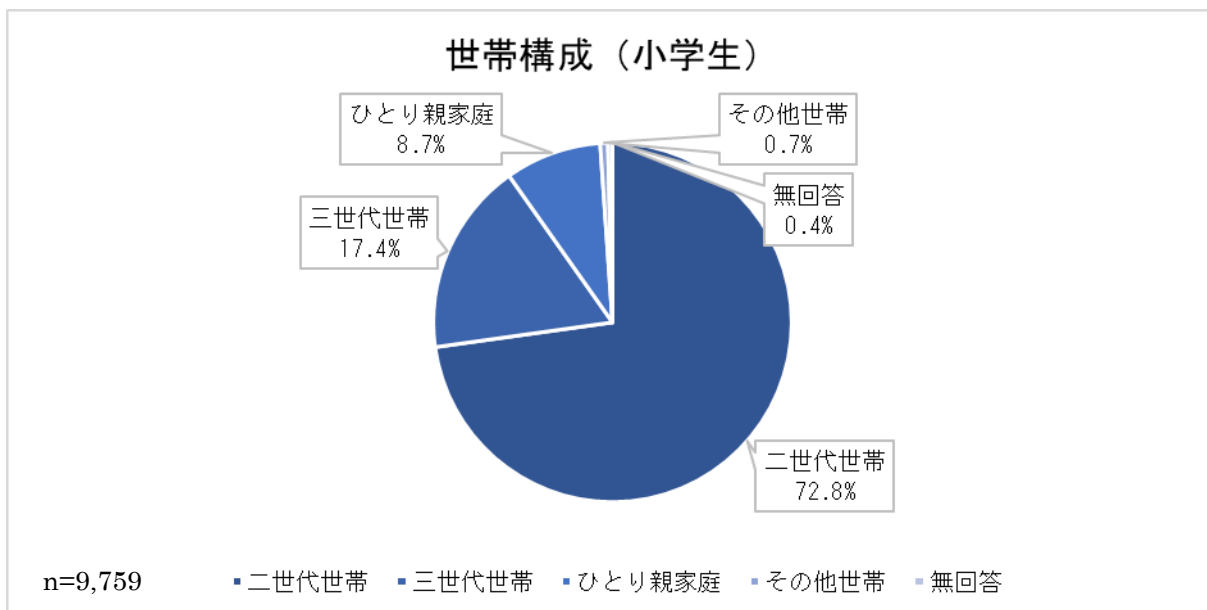
第2章 調査結果の詳細

(4) - 2 世帯構成

二世帯世帯1,143人、三世帯世帯94人、ひとり親世帯74人、その他世帯9人。



【参考】国調査（令和3年度）



2. ヤングケアラーの認知度

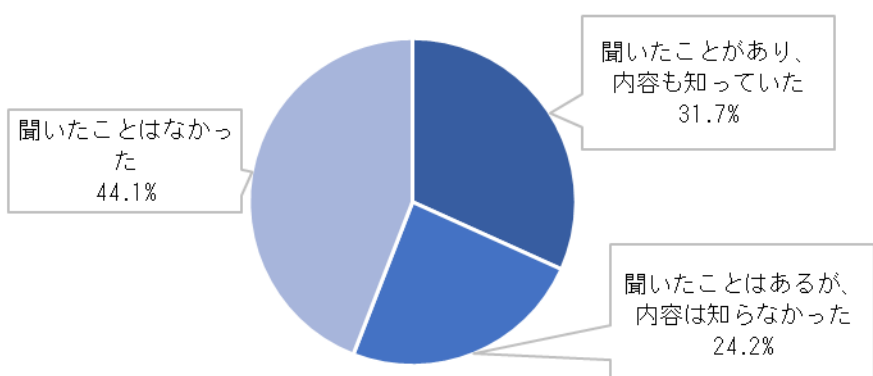
(1) ヤングケアラーの認知度

問6 あなたは「ヤングケアラー」という言葉を、このアンケート調査をする前に聞いたことがありましたか。（あてはまるもの1つにチェック。）

小学校5年生：「聞いたことがあり、内容も知っていた」195人、「聞いたことはあるが、内容はしらなかった」173人、「聞いたことはなかった」331人。

小学校6年生：「聞いたことがあり、内容も知っていた」224人、「聞いたことはあるが、内容はしらなかった」146人、「聞いたことはなかった」251人。

ヤングケアラーの認知度（小学生）



n=1,320

- 聞いたことがあり、内容も知っていた
- 聞いたことはあるが、内容は知らなかった
- 聞いたことはなかった

第2章 調査結果の詳細

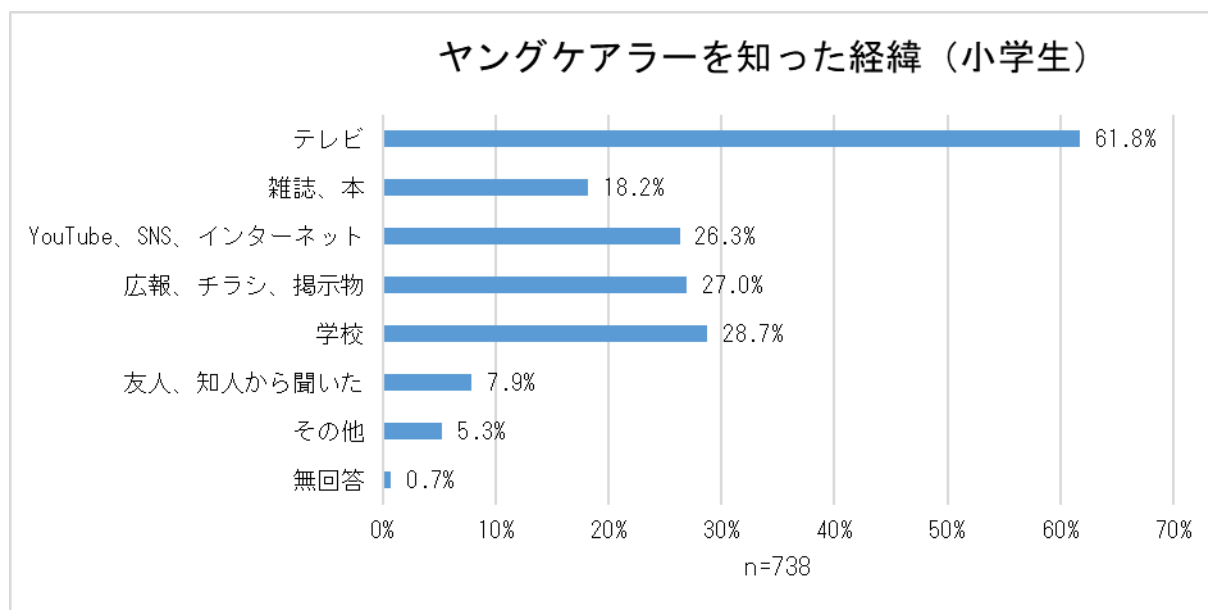
(2) ヤングケアラーを知った経緯

問7 ヤングケアラーという言葉はどこで知りましたか。（あてはまるもの全てにチェック。）

問8 「その他」を選択した方は、具体的な内容を教えてください。

「テレビ」456人、「雑誌、本」134人、「YouTube、SNS、インターネット」194人、「広報、チラシ、掲示物」199人、「学校」212人、「友人、知人から聞いた」58人、「その他」39人、無回答5人。

「その他」には、「学習塾」9人、「保護者」5人、「きょうだい」1人、「自分が経験した」1人などの回答がありました。



3. 家族や家庭について

(1) お世話をしている家族の有無

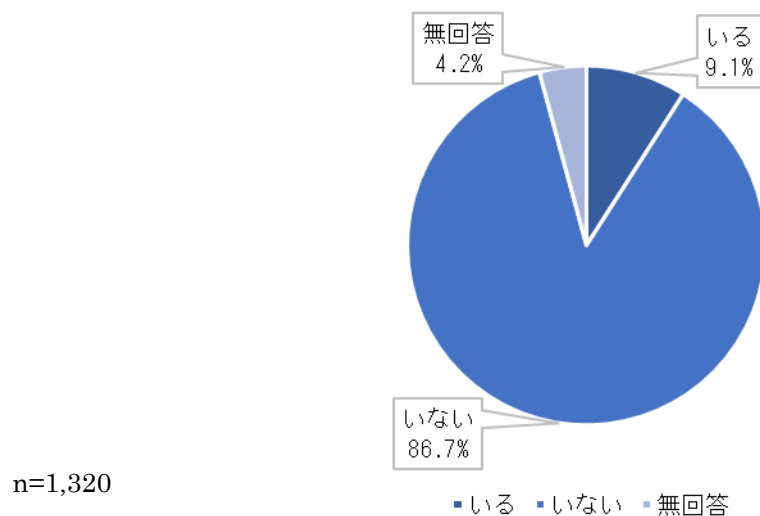
問9 家族のなかに、あなたがお世話をしている人はいますか。（あてはまるもの1つにチェック。）

問10 あなたは誰のお世話をしていますか。（あてはまるもの全てにチェック。）

問11 「その他」を選択した方は、具体的な内容を教えてください。

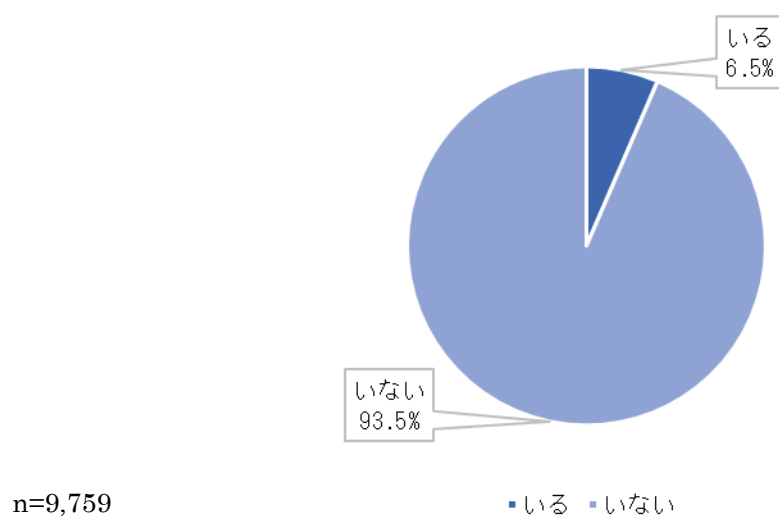
「家族のお世話をしている」120人、「していない」1,144人、無回答56人。

お世話をしている家族の有無（小学生）



【参考】国調査（令和3年度）

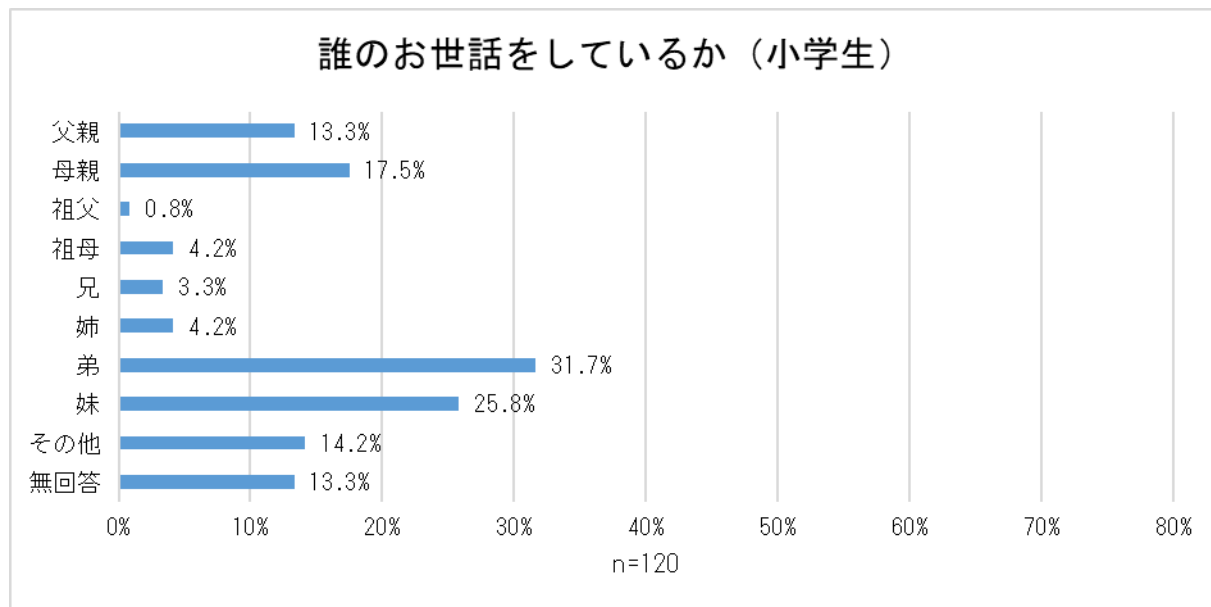
お世話をしている家族の有無（小学生）



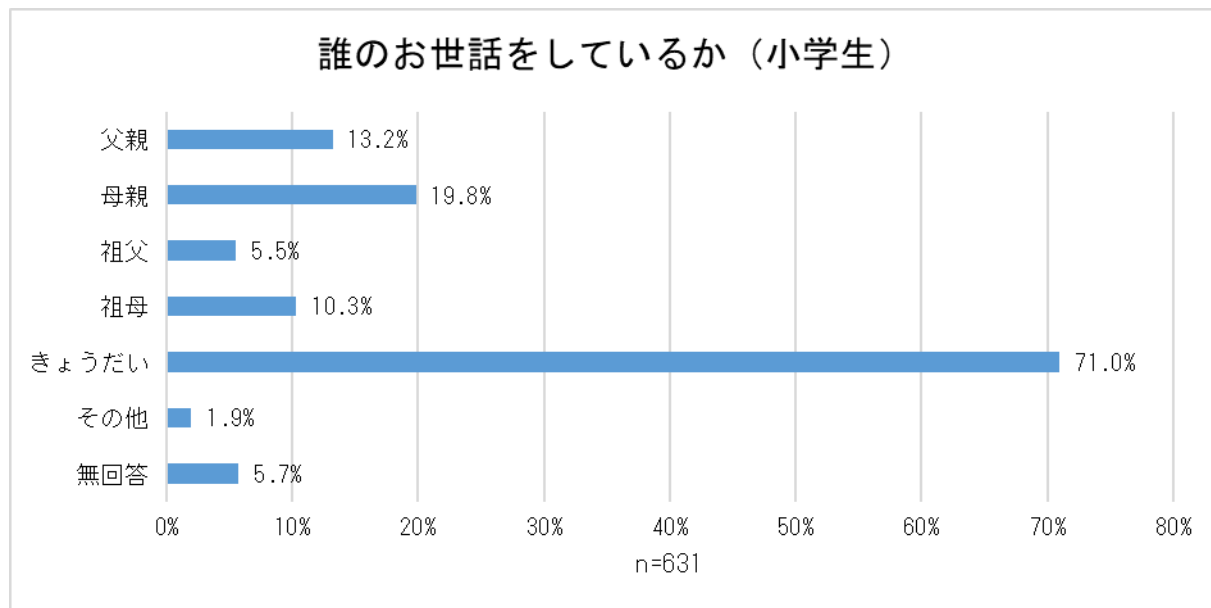
第2章 調査結果の詳細

お世話をしている家族がいる120人のうち、お世話の対象は「父親」16人、「母親」21人、「祖父」1人、「祖母」5人、「兄」4人、「姉」5人、「弟」38人、「妹」31人、「その他」17人、無回答16人。

「その他」には、犬、猫、鳥など、ペットの回答がありました。



【参考】国調査（令和3年度）



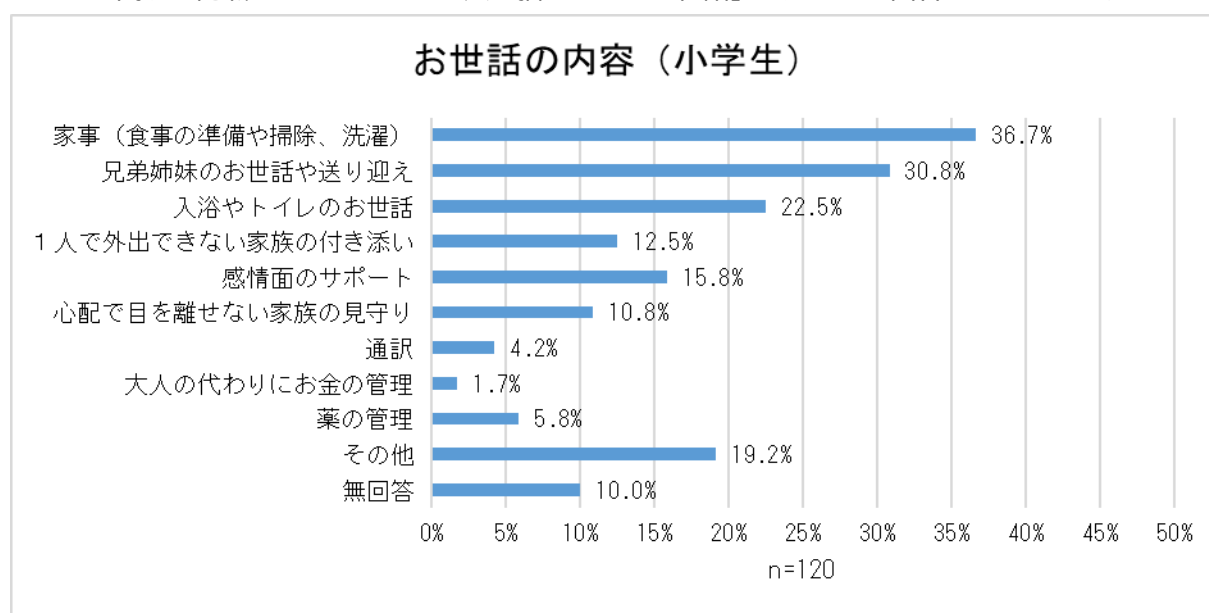
(2) お世話の内容

問12 あなたが家族のお世話をしている内容を教えてください。（あてはまるもの全てにチェック。）

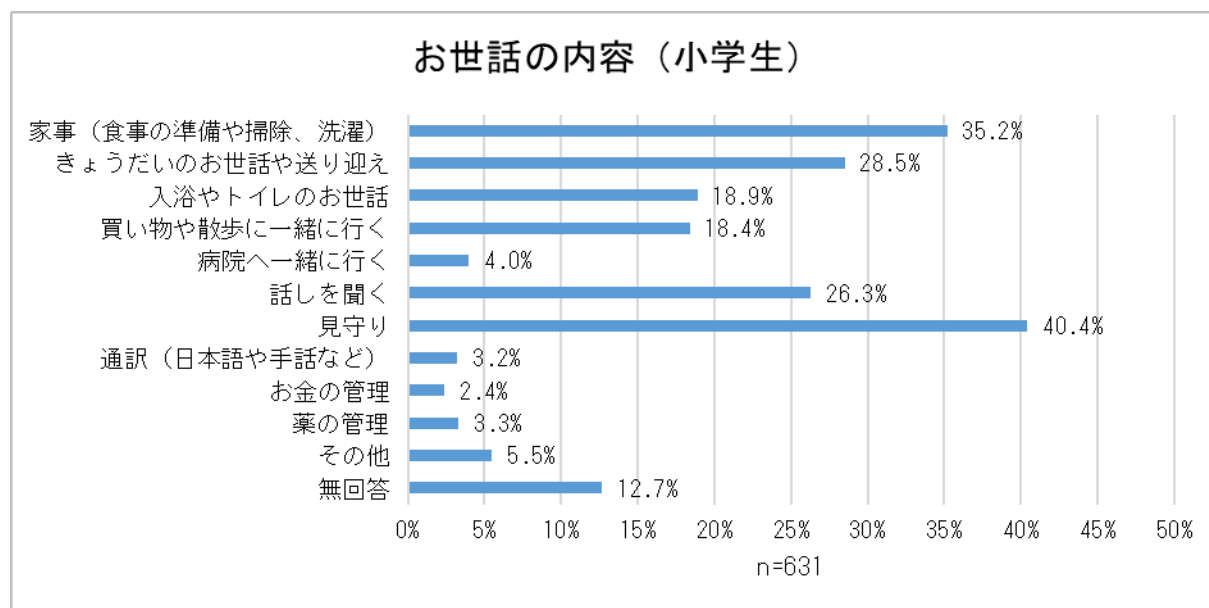
問13 「その他」を選択した方は、具体的な内容を教えてください。

お世話をしている家族がいる120人のうち、お世話の内容は、「家事」44人、「兄弟姉妹のお世話や送り迎え」37人、「入浴やトイレのお世話」27人、「1人で外出できない家族の付き添い」15人、「感情面のサポート」19人、「心配で目が離せない家族の見守り」13人、「通訳」5人、「大人の代わりにお金の管理」2人、「薬の管理」7人、「その他」23人、無回答12人。

「その他」には、「遊び相手になる」3人、「着替えの手伝い」2人、「弟、妹の世話」2人、「料理を作る、風呂掃除をする」1人、「勉強を教える」1人など、「幼い兄弟のお世話」に当てはまると考えられるものに関する記載があったほか、「犬や猫などペット世話」5人などの回答がありました。



【参考】国調査（令和3年度）

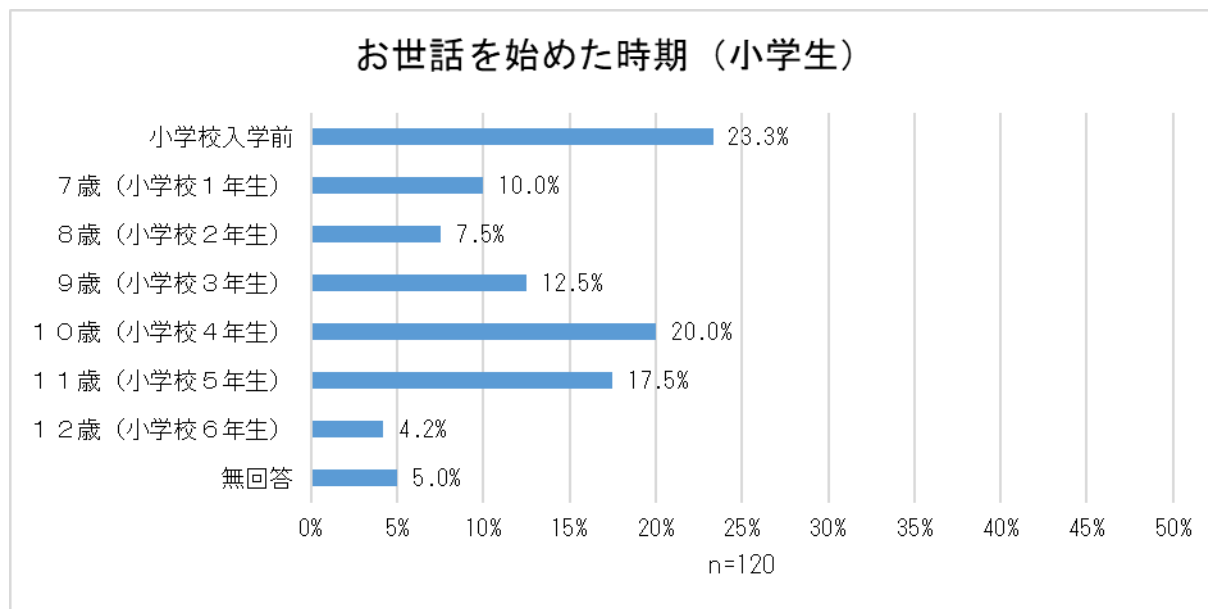


第2章 調査結果の詳細

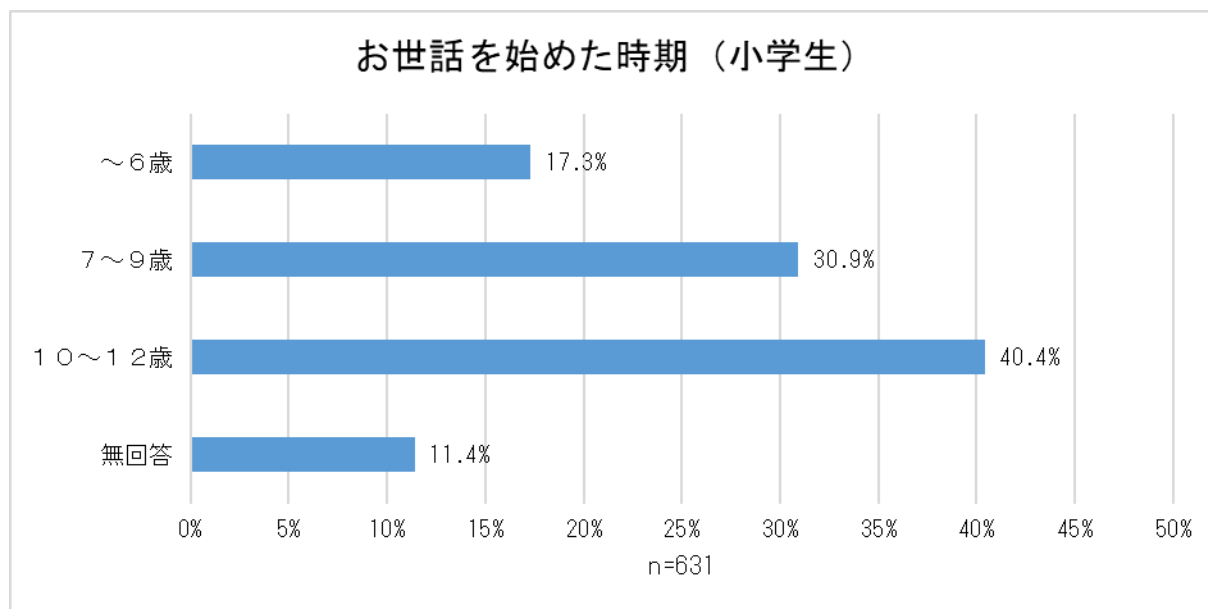
(3) お世話を始めた時期

問14 あなたは家族のお世話をいつからしていますか。(あてはまるもの1つにチェック。)

お世話をしている家族がいる120人のうち、お世話を始めた時期は、「小学校入学前」28人、「7歳(小学校1年生)」12人、「8歳(小学校2年生)」9人、「9歳(小学校3年生)」15人、「10歳(小学校4年生)」24人、「11歳(小学校5年生)」21人、「12歳(小学校6年生)」5人、無回答6人。



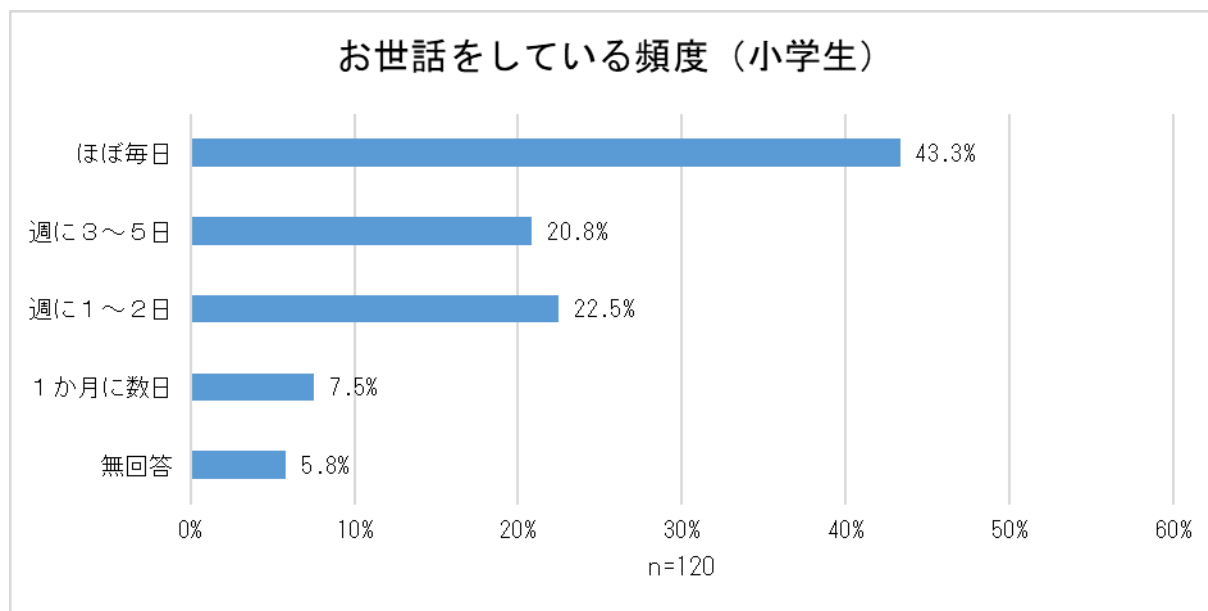
【参考】国調査 (令和3年度)



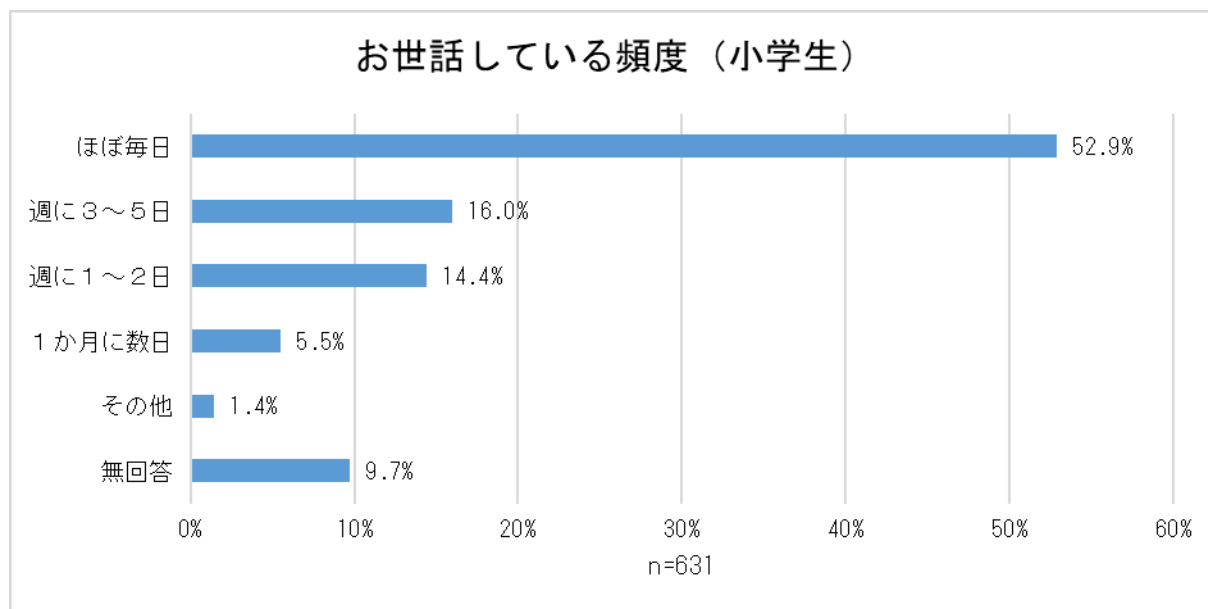
(4) お世話をしている頻度

問15 あなたが家族のお世話をしているのはどれくらいですか。(あてはまるもの1つにチェック。)

お世話をしている家族がいる120人のうち、お世話の頻度は、「ほぼ毎日」52人、「週に3～5日」25人、「週に1～2日」27人、「1か月に数日」9人、無回答7人。



【参考】国調査 (令和3年度)

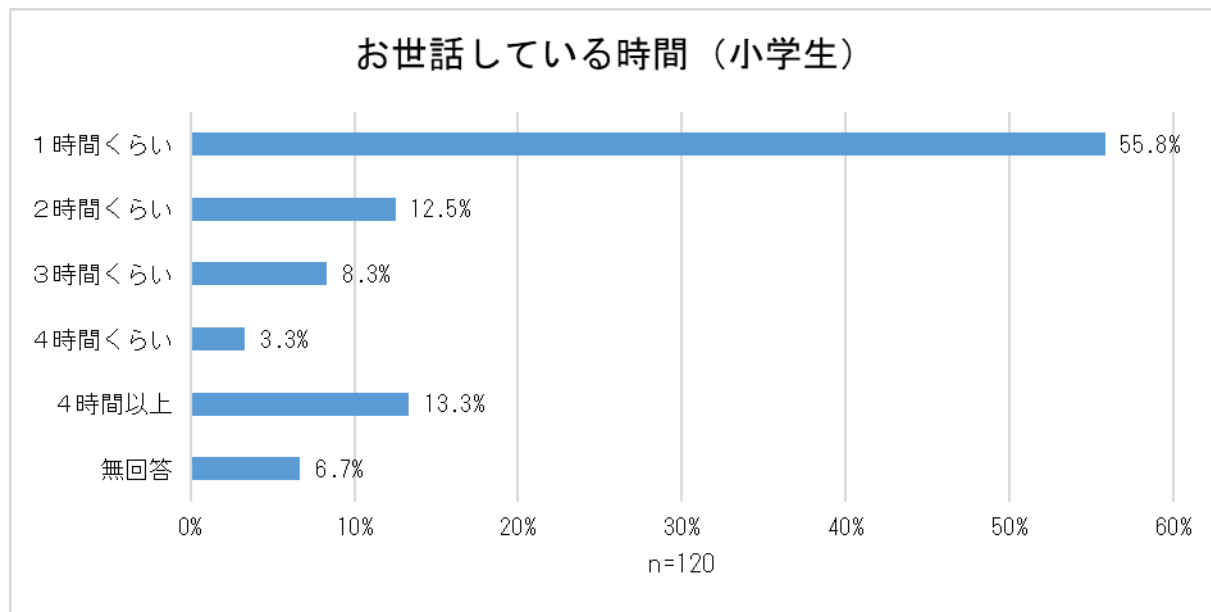


第2章 調査結果の詳細

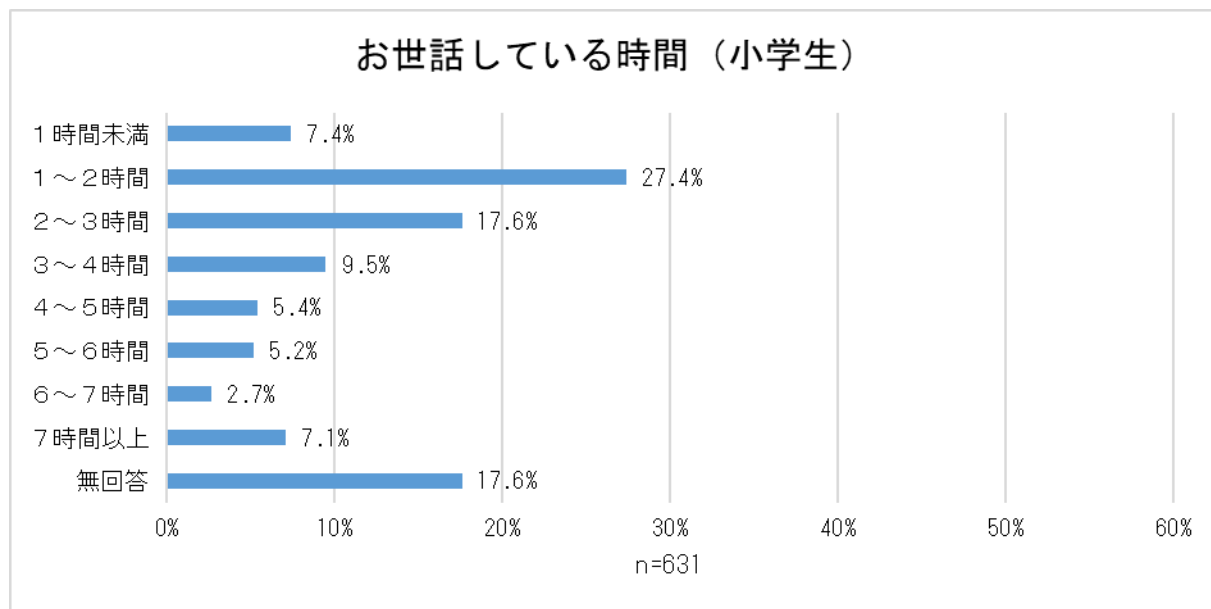
(5) お世話をしている時間

問16 あなたは1日何時間くらい家族のお世話をしていますか。(あてはまるもの1つにチェック。)

お世話をしている家族がいる120人のうち、お世話をしている時間は、「1時間くらい」67人、「2時間くらい」15人、「3時間くらい」10人、「4時間くらい」4人、「4時間以上」16人、無回答8人。



【参考】国調査 (令和3年度)



(6) お世話をしているために、やりたくてもできないこと

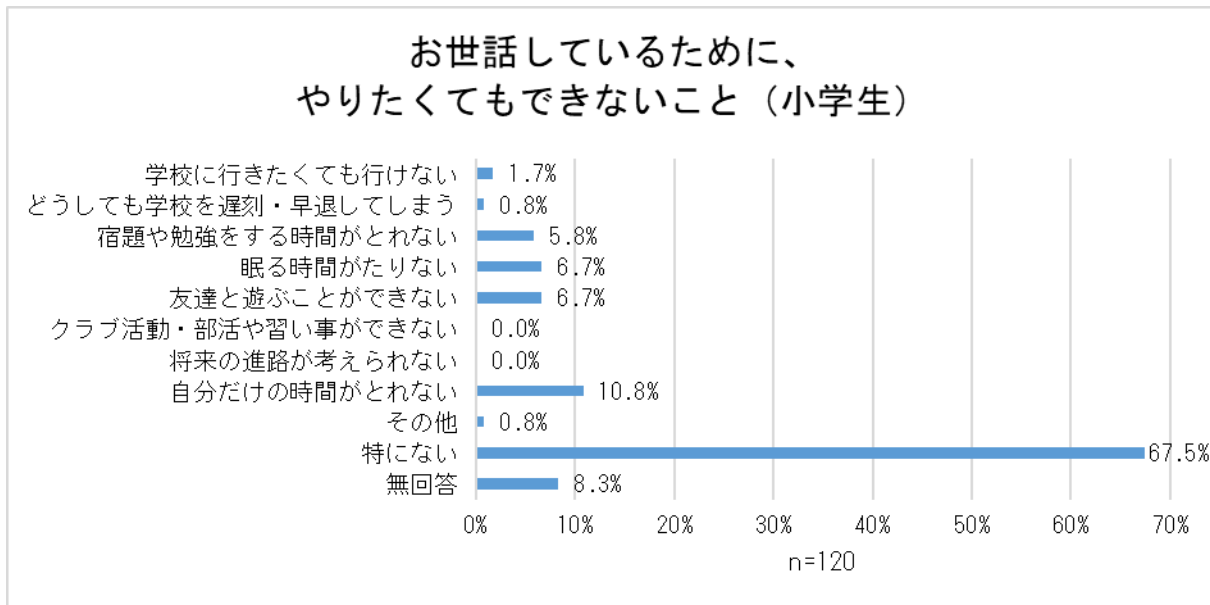
問17 家族のお世話をしているために、あなたがやりたくてもできないことはありますか。
(あてはまるもの1つにチェック。)

問18 あなたができないことは、どのようなことですか。(あてはまるもの全てにチェック。)

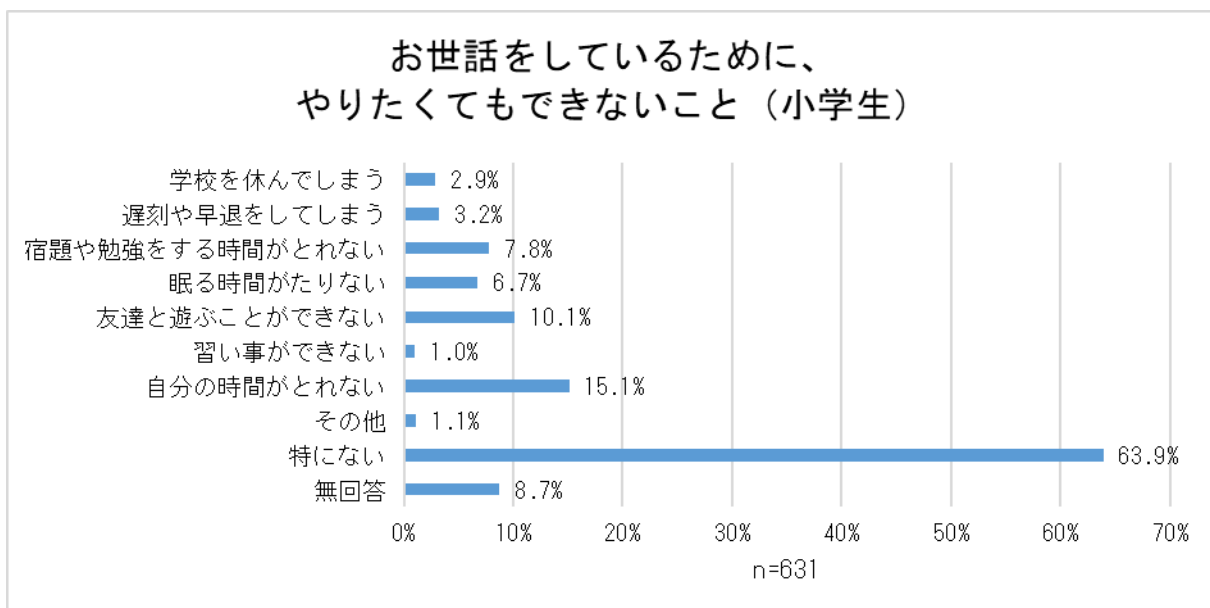
問19 「その他」を選択した方は、具体的な内容を教えてください。

お世話をしている家族がいる120人のうち、「お世話をしているために、やりたくてもできないことがある」34人、「ない」81人、無回答5人。

「やりたくてもできないことがある」34人のうち、やりたくてもできないことは、「学校に行きたくても行けない」2人、「どうしても学校を遅刻・早退してしまう」1人、「宿題や勉強をする時間が取れない」7人、「眠る時間がたりない」、「友人と遊ぶことができない」8人、「自分だけの時間が取れない」13人、「その他」1人、無回答5人(「その他」に具体的な記載なし。)



【参考】国調査 (令和3年度)

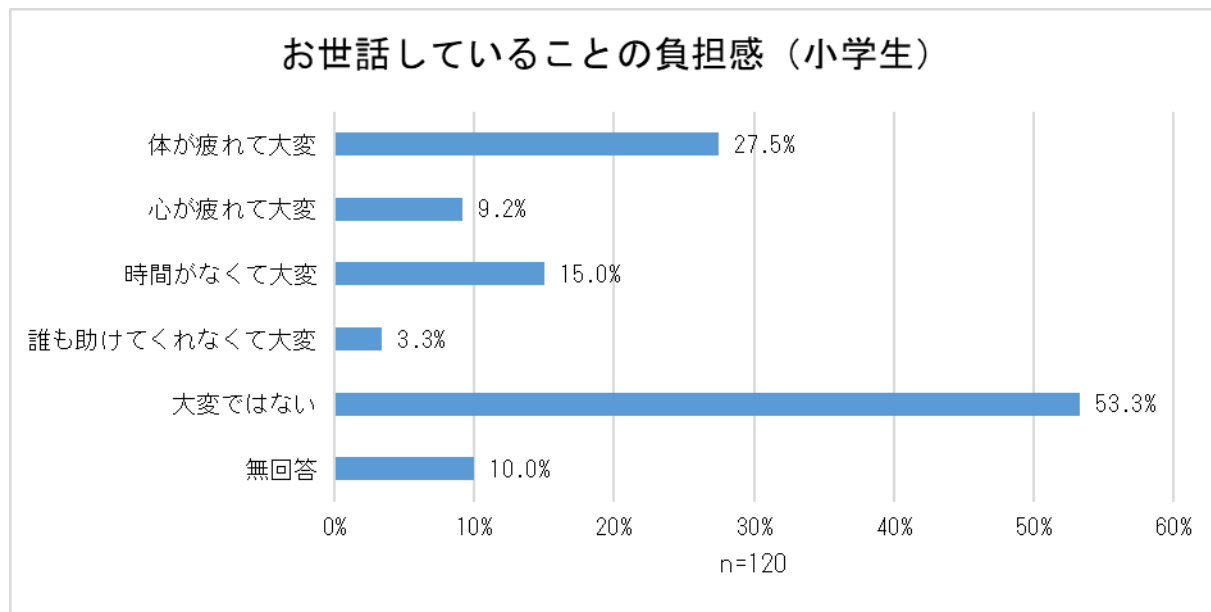


第2章 調査結果の詳細

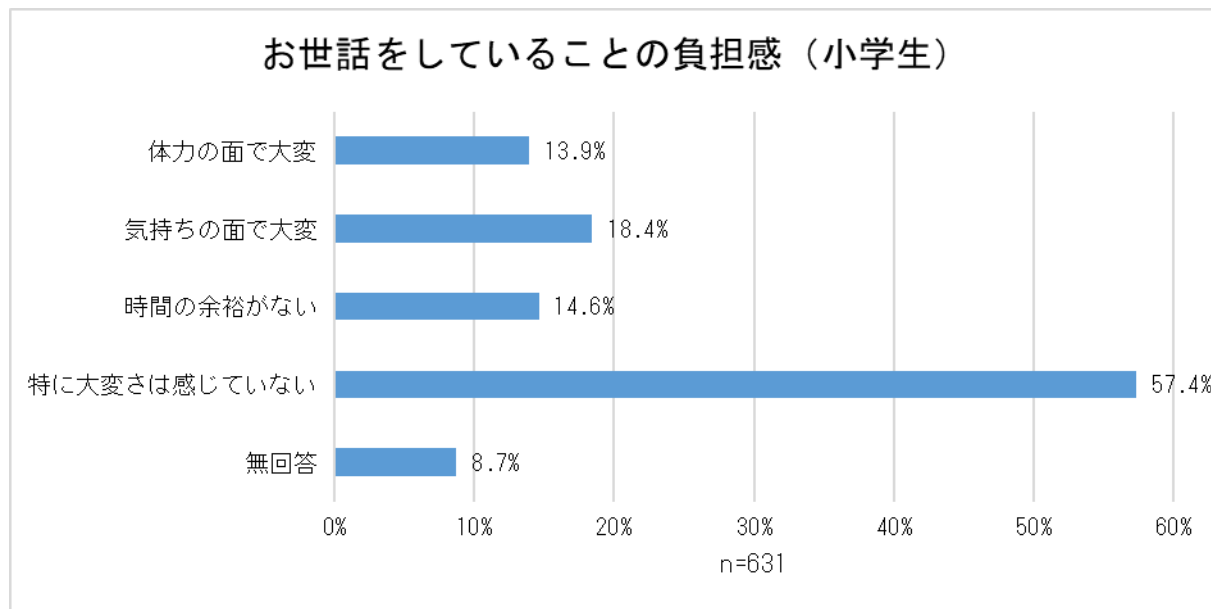
(7) お世話をしていることの負担感

問20 あなたは家族をお世話することに、大変さを感じていますか。（あてはまるもの全てにチェック。）

お世話をしている家族がいる120人のうち、お世話をしていることについて、「体が疲れて大変」33人、「心が疲れて大変」11人、「時間がなくて大変」18人、「誰も助けられなくて大変」4人、「大変ではない」64人、無回答12人。



【参考】国調査（令和3年度）



(8) お世話をしていることについての相談状況

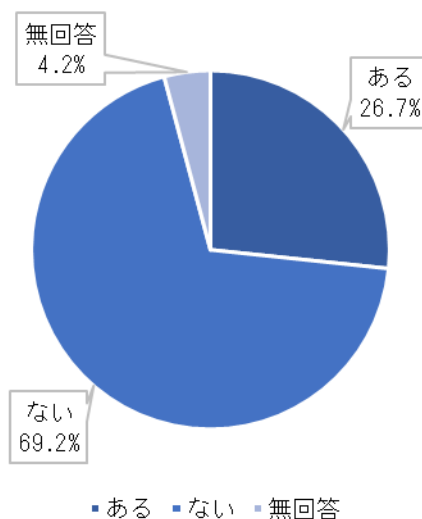
問21 あなたはお世話をしている家族のことや悩みなどを、誰かに相談したことがありますか。(あてはまるもの1つにチェック。)

問22 誰に相談しましたか。(あてはまるもの全てにチェック。)

問23 「その他」を選択した方は、具体的な内容を教えてください。

お世話をしている家族がいる120人のうち、「相談したことがある」32人、「ない」83人、無回答5人。

お世話をしていることの相談状況 (小学生)

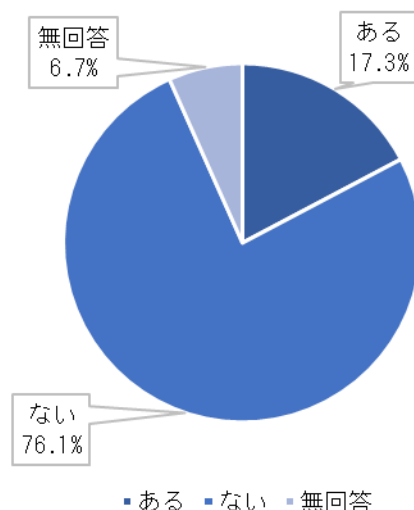


n=120

■ある ■ない ■無回答

【参考】国調査 (令和3年度)

お世話をしていることの相談状況 (小学生)



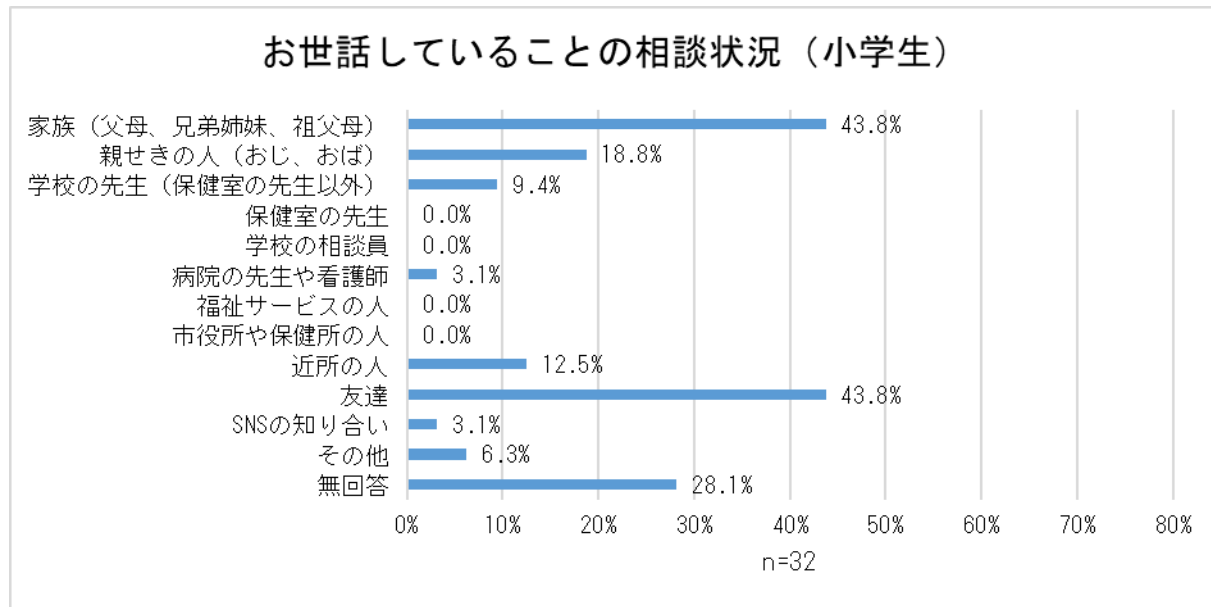
n=631

■ある ■ない ■無回答

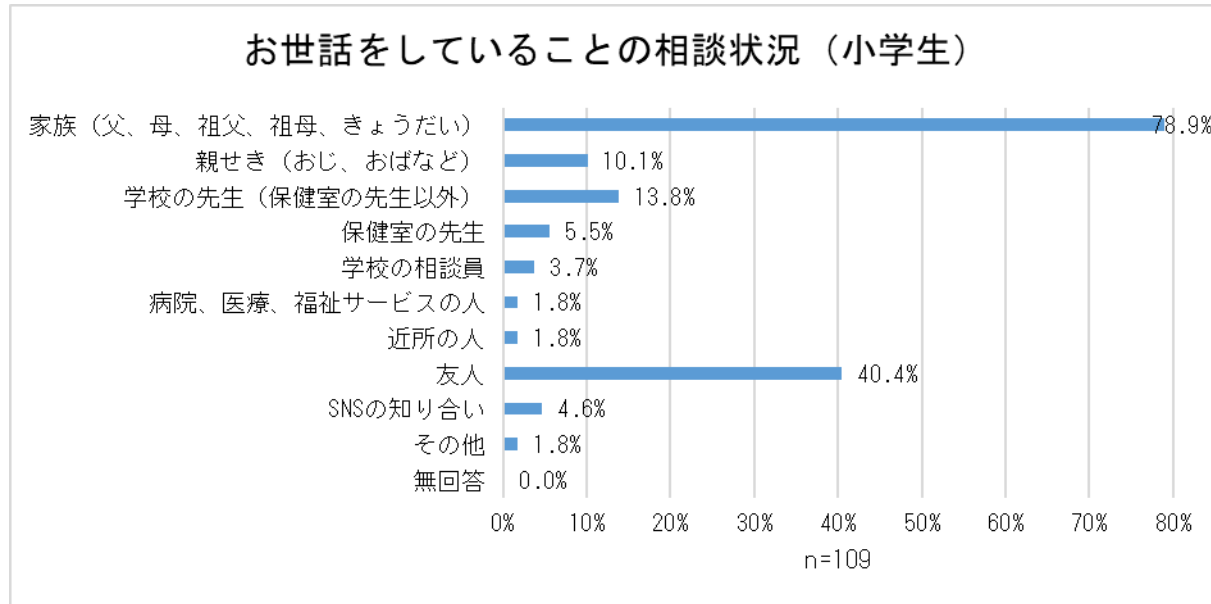
第2章 調査結果の詳細

相談したことがある32人のうち、「家族（父母、兄弟姉妹、祖父母）」14人、「親せきの人（おじ、おば）」6人、「学校の先生（保健室の先生以外）」3人、「病院の先生や看護師」1人、「近所の人」4人、「友達」14人、「SNSの知り合い」1人、「その他」2人、無回答9人。

「その他」には、「担任の先生」1人、「インターネットの相談サイト」1人などの回答がありました。



【参考】国調査（令和3年度）



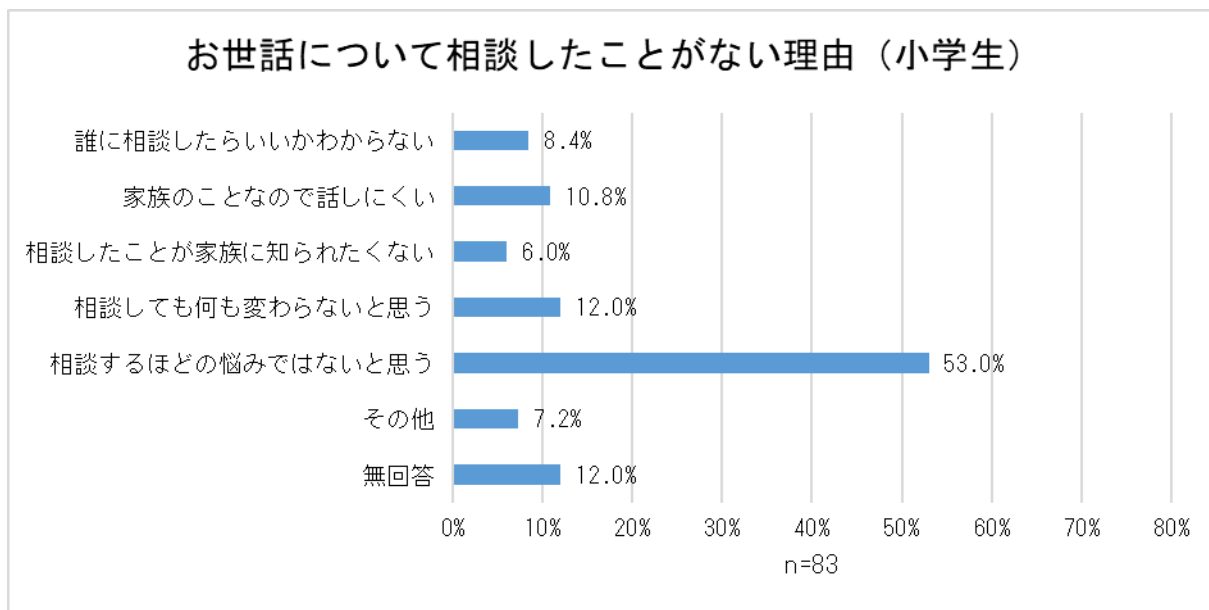
(9) お世話について相談したことが無い理由

問24 相談していない理由を教えてください。(あてはまるもの全てにチェック。)

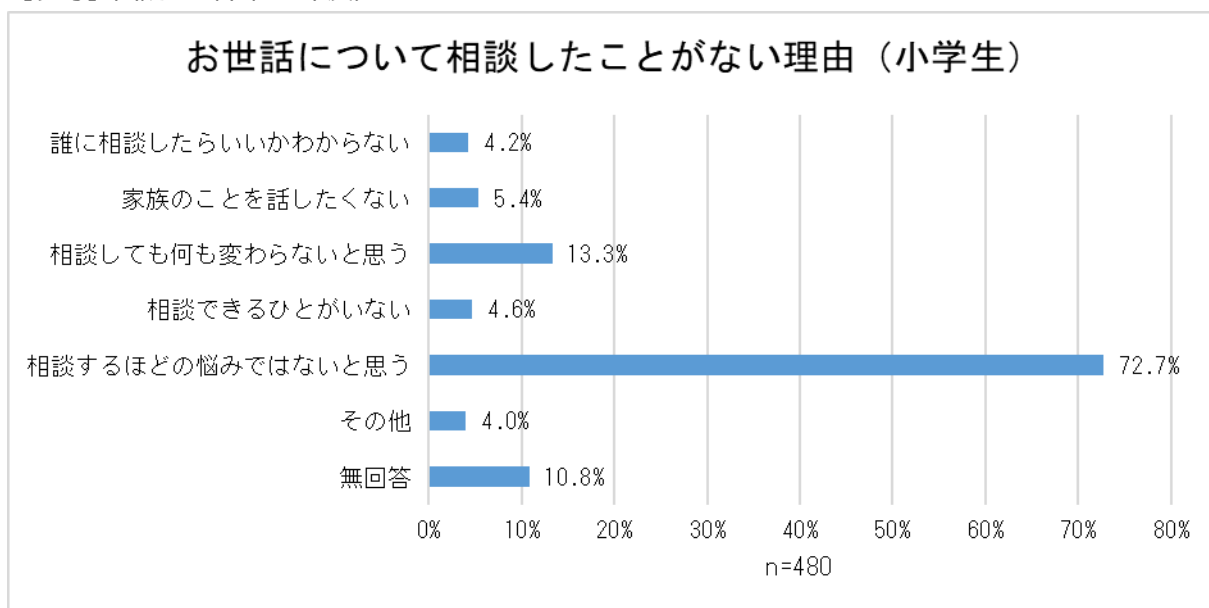
問25 「その他」を選択した方は、具体的な内容を教えてください。

家族のお世話について相談したことがない83人のうち、「誰に相談したらいいかわからない」7人、「家族のことなので話しにくい」9人、「相談したことが家族に知られたくない」5人、「相談しても何も変わらないと思う」10人、「相談するほどの悩みではない」44人、「その他」6人、無回答10人。

「その他」には、「相談をする必要がない」2人、「自分より大変な人はたくさんいる」1人などの回答がありました。



【参考】国調査 (令和3年度)



第2章 調査結果の詳細

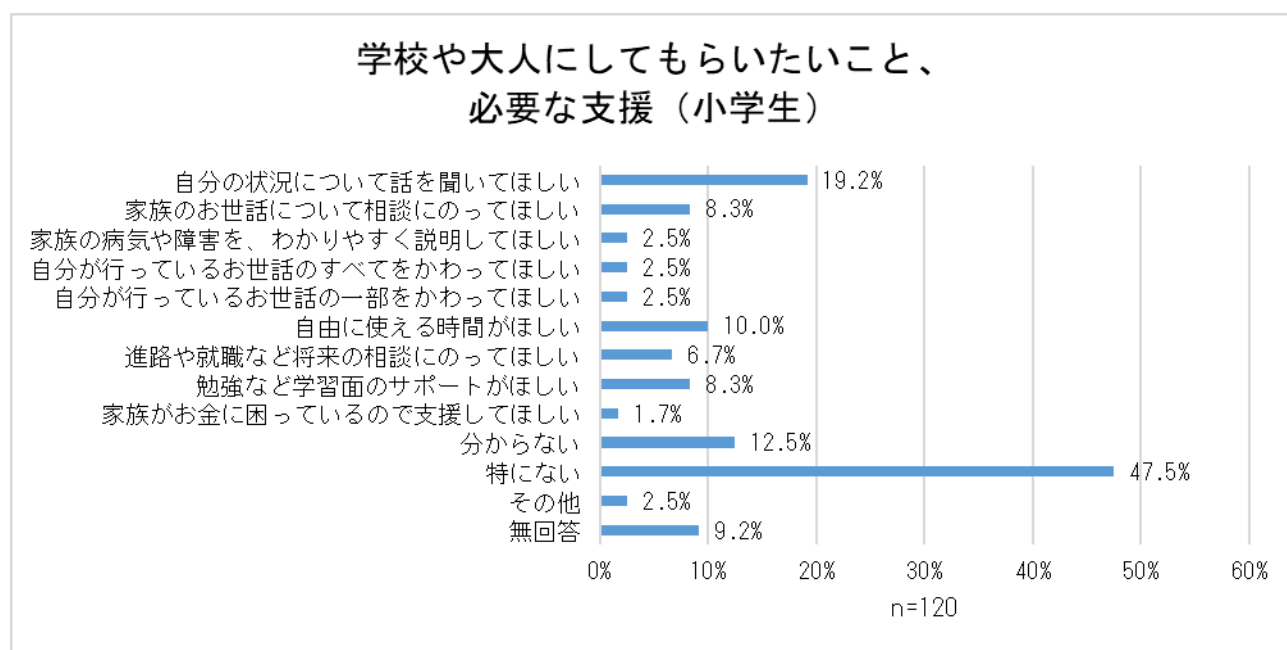
(10) 学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援

問26 学校の先生や周りの大人に助けてほしいこと、あったらいいなと思う支援はありますか。（あてはまるもの全てにチェック。）

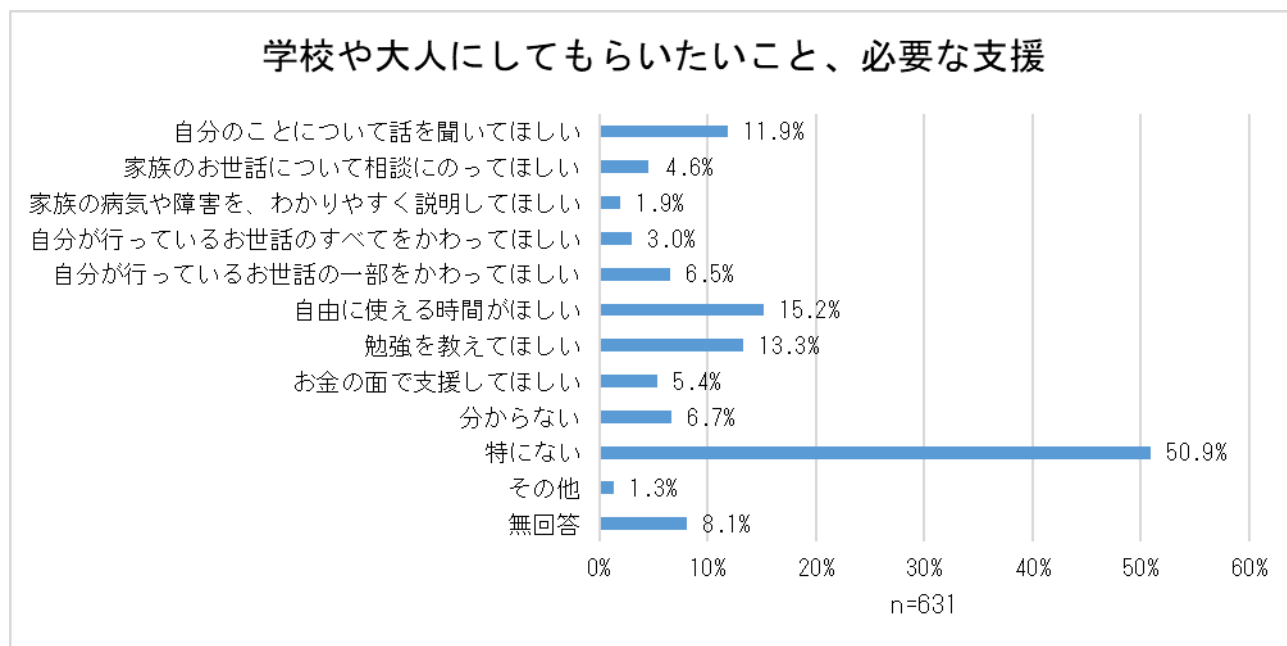
問27 「その他」を選択した方は、具体的な内容を教えてください。

お世話をしている家族がいる120人のうち、学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援は、「自分の状況について話を聞いてほしい」23人、「家族のお世話について相談にのってほしい」10人、「家族の病気や障害について、わかりやすく説明してほしい」、「自分が行っているお世話のすべてをかわってほしい」、「一部をかわってほしい」3人、「自由に使える時間がほしい」12人、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」8人、「勉強など学習面のサポートがほしい」10人、「家族がお金に困っているので支援してほしい」2人、「分からない」15人、「特にない」57人、「その他」3人、無回答11人。

「その他」には、「弟や妹のことについて相談したい」などの回答がありました。



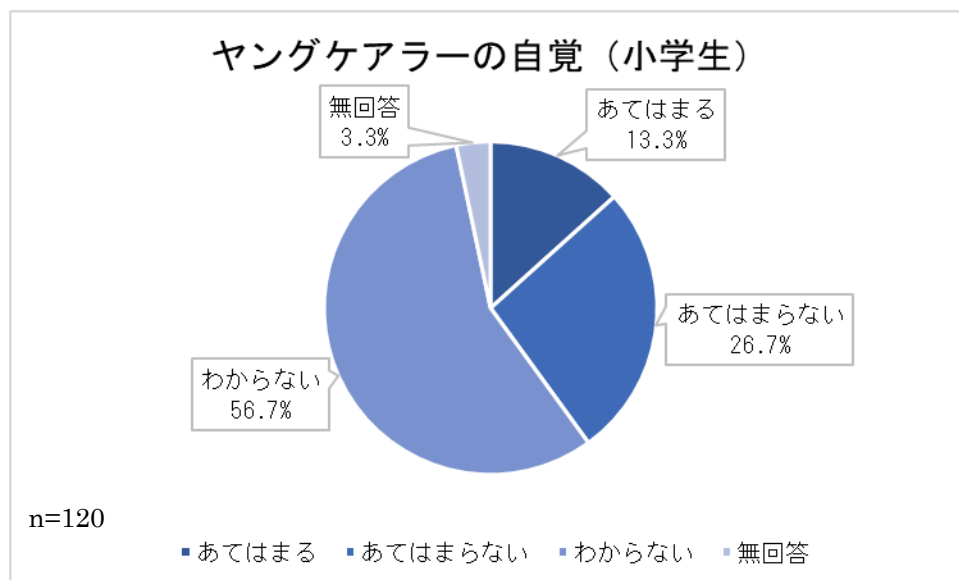
【参考】国調査（令和3年度）



(11) ヤングケアラーの自覚

問28 あなたは自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思えますか。（あてはまるもの1つにチェック。）

お世話をしている家族がいる120人のうち、ヤングケアラーに「あてはまる」と回答したのは16人、「あてはまらない」32人、「わからない」68人、無回答4人。



第2章 調査結果の詳細

4. その他（自由記述）

問29 このアンケート調査のほかに、あなたが困っていること、相談したいことはありますか。自由に記入してください。

325件中、「特にない」またはそれに類する回答255件を除外。70件中、重複を除く33件を抜粋して記載しています。回答者の表現を用いる形で記載していますが、一部表現を変更しています。

（1）学校生活

- ・悪口を言われる。クラスメイトから暴言を言われる。
- ・いじめと感ずることがある。
- ・学校でクラスをまとめないといけない時、誰も言うことをきいてくれず、日々ストレスに感ずる。
- ・学校になじめない。
- ・学校の先生との関係に悩んでいる。
- ・学習など、皆のペースについていけない。
- ・体調が悪いときに保健室に行きたいけど行きづらい。さぼりだと言われる。
- ・差別されていると感ずる。

（2）友人関係

- ・友人に仲間外れにされる。
- ・無視されているように感ずる。
- ・友人関係、人間関係がうまくいかない。
- ・自分に合わない人がたくさんいて困っている。意見がまとまらない。
- ・友人についていろいろ相談したい。
- ・友人関係のトラブル。

（3）児童相談

- ・親から暴力を振るわれる。暴言を言われる。
- ・親にしつこい監視をされる。
- ・自分の夢を反対される。
- ・怒られるときに教科書を破られる。
- ・両親の仲が悪くて喧嘩している。
- ・テストの結果が悪くて物を投げられる。
- ・虐待や家庭内暴力、友人の問題について。

（4）家族関係

- ・きょうだい関係に悩んでいる。
- ・家族の状態について悩んでいる。
- ・今後の生活が不安だが、親に心配をかけたくないので、静かに夜泣いている。
- ・女の子扱いされたくないのに、髪形を自由に換えさせてくれない。

(5) 要望、求める支援

- ・障害を持つ人に対して嫌なことを言う人がいる。障害について学校の人にもっと知ってほしい。
- ・「男だから」とか「女だから」という言葉を減らしたい。
- ・学習支援施設が無い。

(6) その他

- ・お金のこと。
- ・ストレスを発散する場所がない。
- ・日々のプレッシャーに押しつぶされそう。
- ・習い事をやめたい。自由に楽しんで取り組みたい。
- ・話を聞いてほしい。

第2章 調査結果の詳細

5. 国が実施した調査結果との比較

(1) ヤングケアラーの認知度

- ・小学生の認知度について、国の調査項目には含まれていないが、半数以上の子どもが「ヤングケアラー」という言葉を知っている。
- ・ヤングケアラーを知った経緯について、テレビの割合が高いが、SNS、啓発物、学校から知った割合も高い。

(2) 誰のお世話をしているか、お世話の内容

- ・お世話をしている家族が「いる」と答えた割合が国の調査より2.6%高く、年下のきょうだいのお世話をしている割合が高い。
- ・高齢者へのお世話の割合が国に比べて低い。

(3) お世話を始めた時期、頻度、時間

- ・小学校入学前からお世話を始めた割合が国の調査より高い。
- ・10歳以降からお世話を始めた割合が高く、国と同じ傾向が見られる。
- ・お世話の頻度は「ほぼ毎日」と答えた割合が国より低い。
- ・お世話をしている時間は「1時間未満」と答えた割合が国より高い。

(4) お世話をしているためにやりたくてもできないこと、負担感

- ・やりたくてもできないことは「特になし」の割合が高く、国と同じ傾向が見られる。
- ・お世話をしていることの負担感は「大変ではない」の割合が高く、国と同じ傾向が見られる。
- ・お世話をしていることの負担感は「体が疲れて大変」の割合が国の調査より高い。

(5) お世話について相談したことが無い理由、必要な支援

- ・相談したことが無い理由は「相談するほどの悩みではないと思う」と答えた子どもの割合が高く、国と同じ傾向が見られる。
- ・「誰に相談したらいいかわからない」、「家族のことなので話しにくい」の割合が国の調査より高い。
- ・行政に相談する割合が、国、朝霞市ともに低い。
- ・学校の先生や保健室の先生に相談する割合が国より低い。
- ・学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援は「特になし」と答えた子どもの割合が高く、国と同じ傾向が見られる。
- ・「自分の状況について話を聞いてほしい」の割合が国の調査より高い。
- ・必要な支援について「わからない」の割合が国の調査より高い。

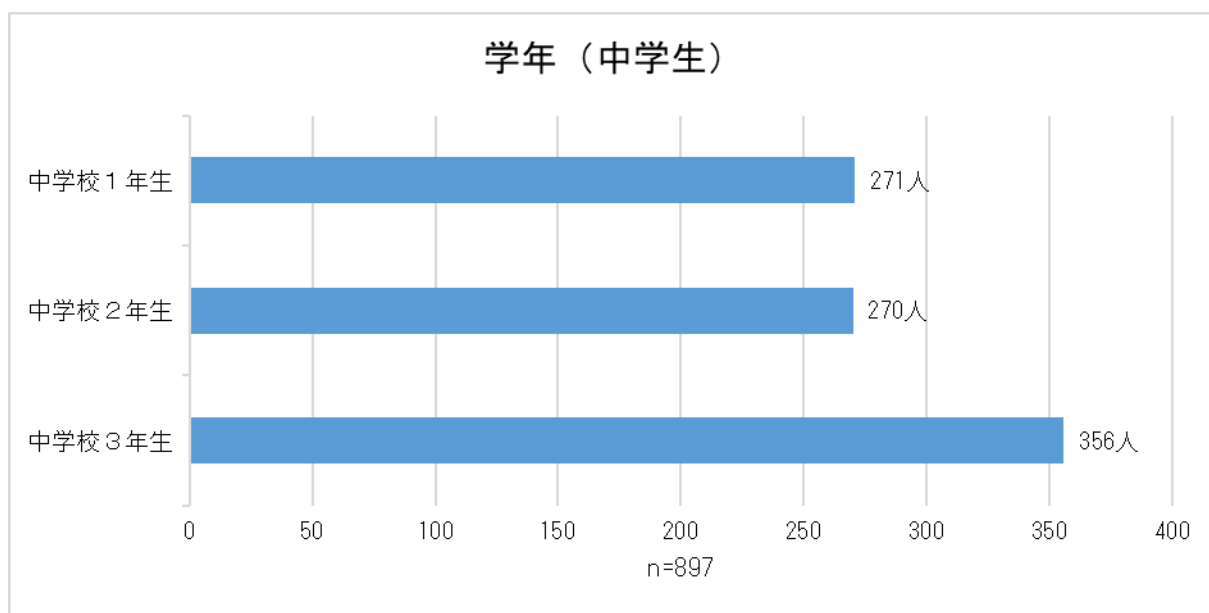
Ⅱ 中学生調査

1. 基本情報

(1) 学年

問1 あなたの学年を教えてください。（あてはまるもの1つにチェック。）

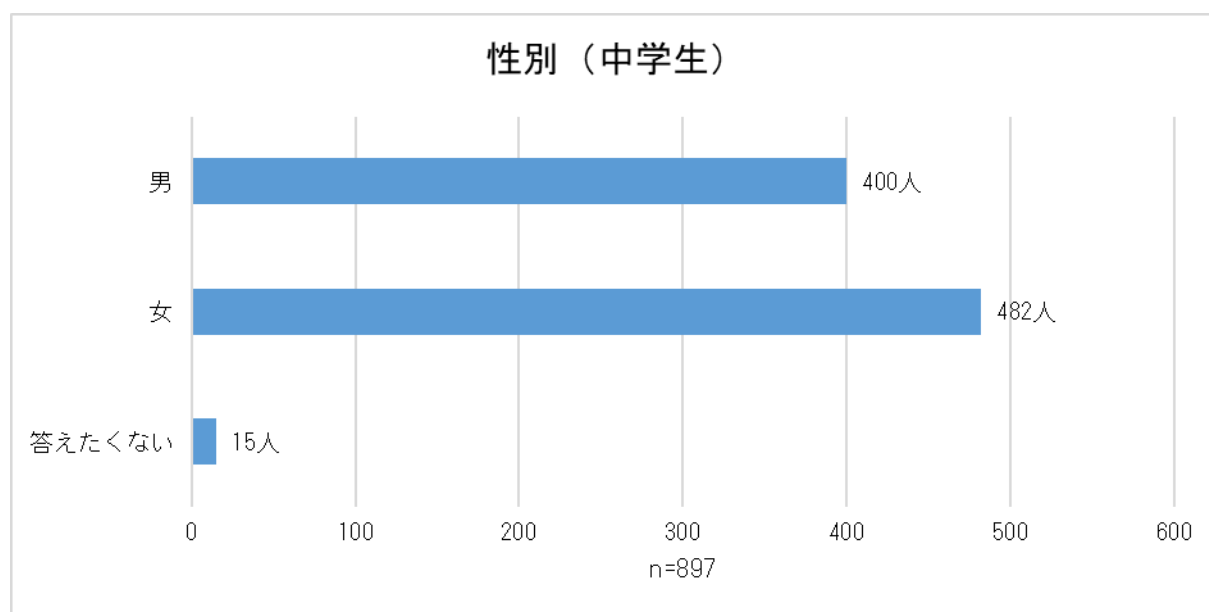
中学校1年生から3年生の回答者数897人（中学校1年生271人、2年生270人、3年生356人。）。



(2) 性別

問2 あなたの性別を教えてください。（あてはまるもの1つにチェック。）

男400人、女482人、答えたくない15人。

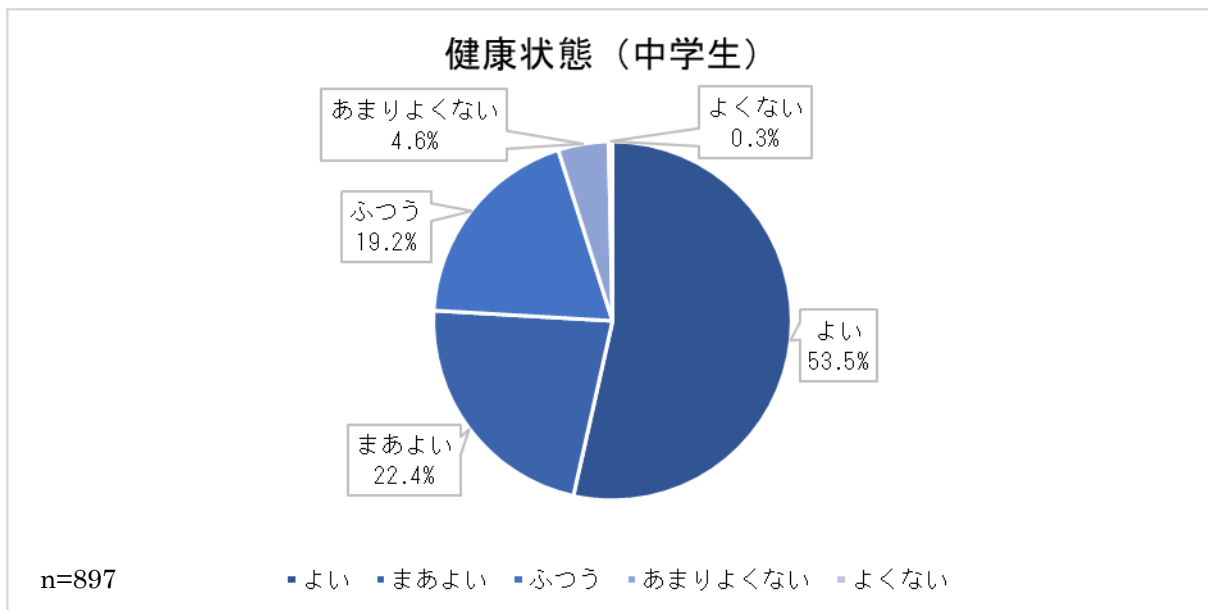


第2章 調査結果の詳細

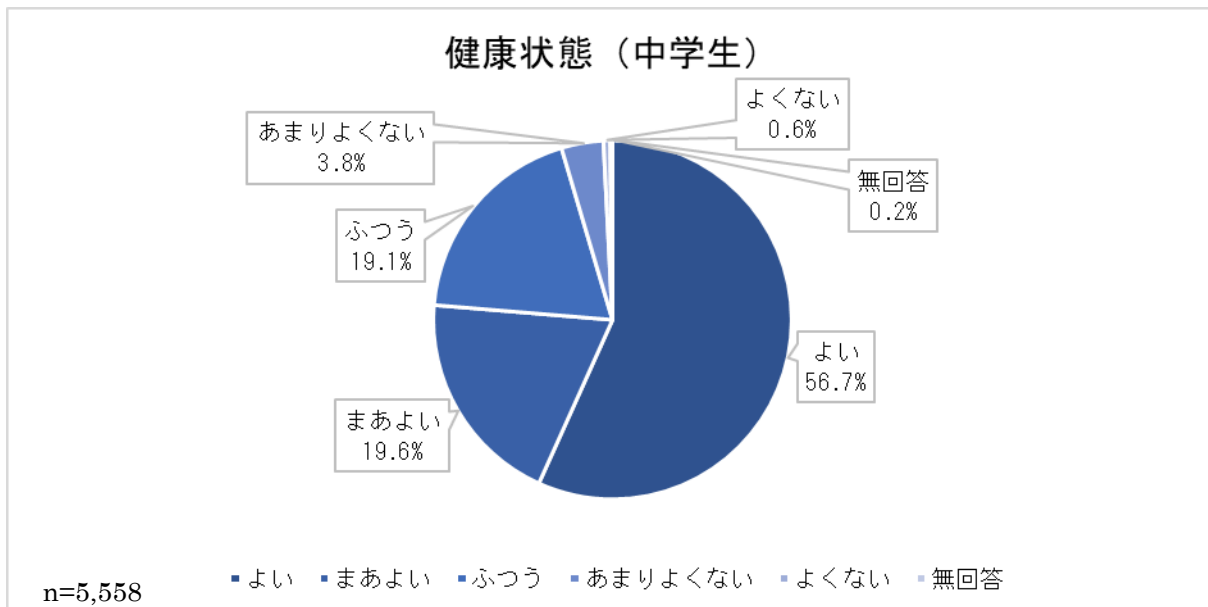
(3) 健康状態

問3 あなたの健康状態を教えてください。(あてはまるもの1つにチェック。)

よい480人、まあよい201人、ふつう172人、あまりよくない41人、よくない3人。



【参考】国調査 (令和2年度)



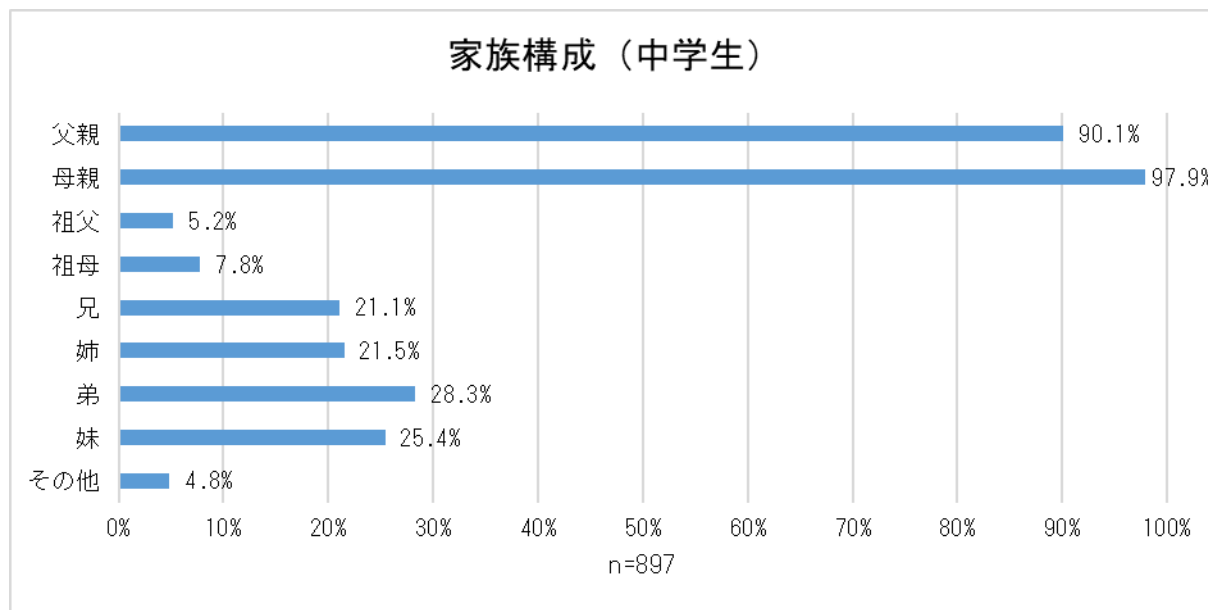
(4) 家族構成

問4 あなたと一緒に住んでいるのは誰ですか。(あてはまるもの全てにチェック。)

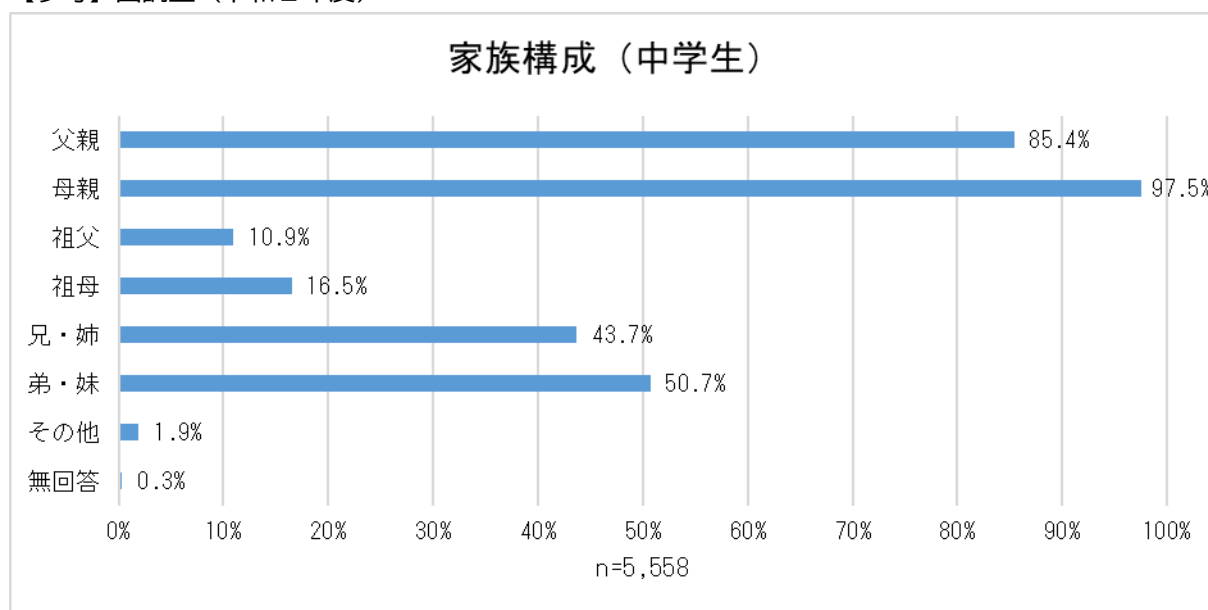
問5 「その他」を選択した方は、具体的な内容を教えてください。

「父親」808人、「母親」878人、「祖父」47人、「祖母」70人、「兄」189人、「姉」193人、「弟」254人、「妹」228人、「その他」43人。

「その他」には、「おじ・おば」4人、「曾祖父」1人、「曾祖母」3人、「いとこ」1人の回答のほか、犬や猫などペットの回答がありました。



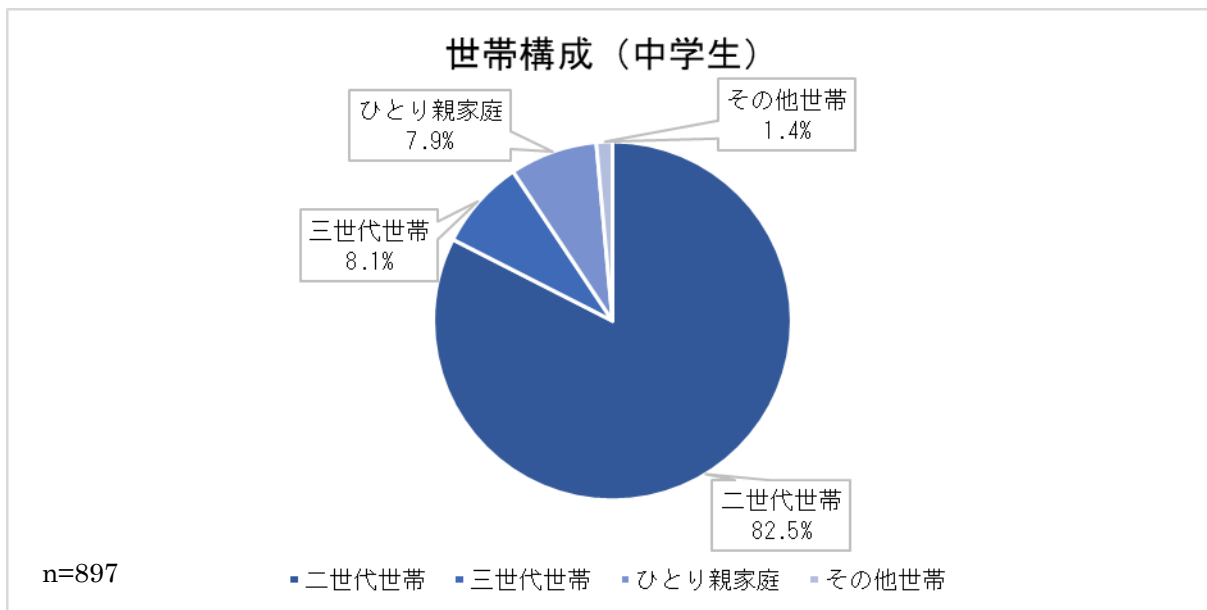
【参考】国調査（令和2年度）



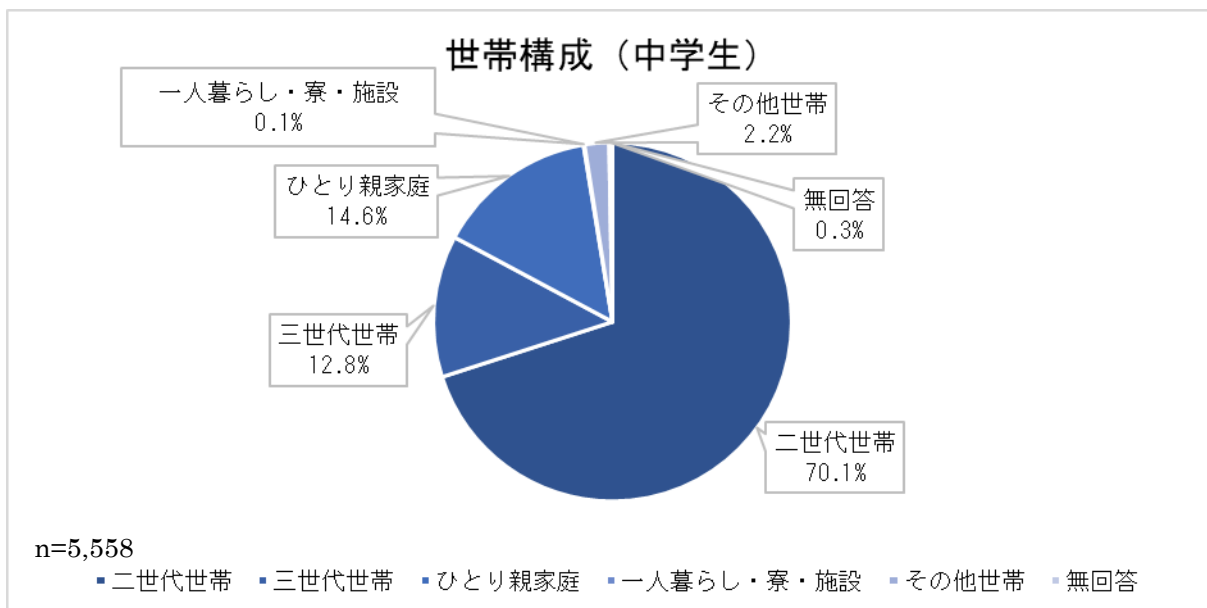
第2章 調査結果の詳細

(4) - 2 世帯構成

二世帯世帯740人、三世帯世帯73人、ひとり親世帯71人、その他世帯13人。



【参考】国調査（令和2年度）



2. ヤングケアラーの認知度

(1) ヤングケアラーの認知度

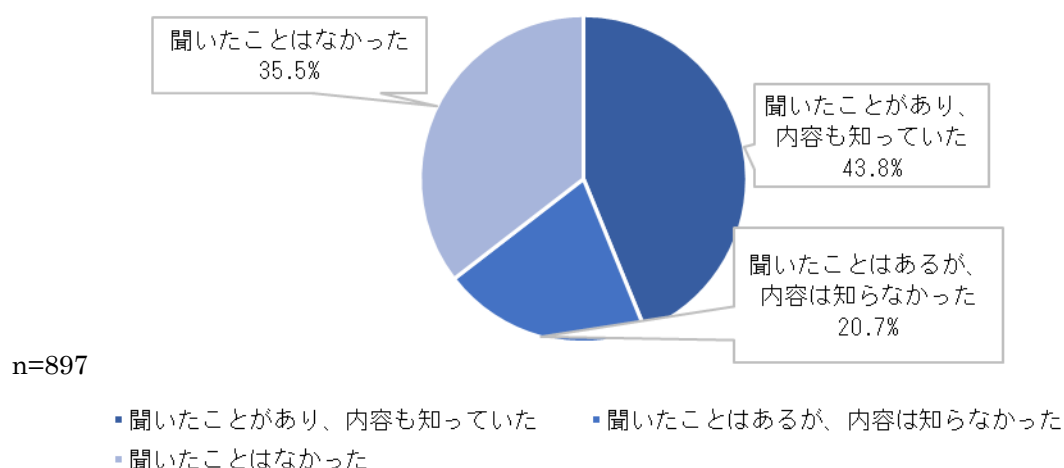
問6 あなたは「ヤングケアラー」という言葉を、このアンケート調査をする前に聞いたことがありましたか。(あてはまるもの1つにチェック。)

中学校1年生：「聞いたことがあります、内容も知っていた」99人、「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」58人、「聞いたことはなかった」114人。

中学校2年生：「聞いたことがあります、内容も知っていた」112人、「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」63人、「聞いたことはなかった」95人。

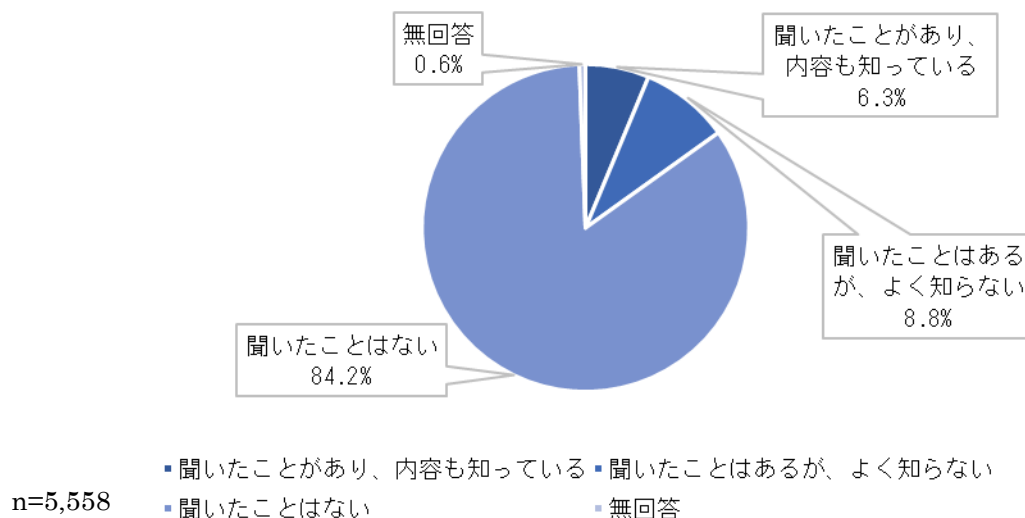
中学校3年生：「聞いたことがあります、内容も知っていた」182人、「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」65人、「聞いたことはなかった」109人。

ヤングケアラーの認知度（中学生）



【参考】国調査（令和2年度）

ヤングケアラーの認知度（中学生）



第2章 調査結果の詳細

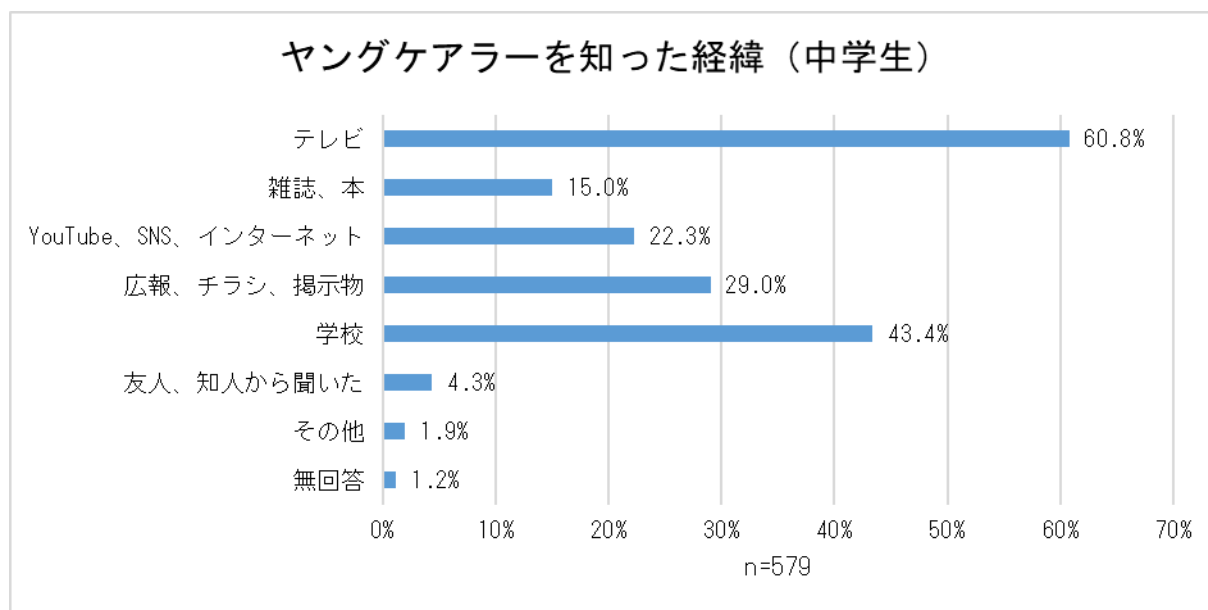
(2) ヤングケアラーを知った経緯

問7 ヤングケアラーという言葉はどこで知りましたか。(あてはまるもの全てにチェック。)

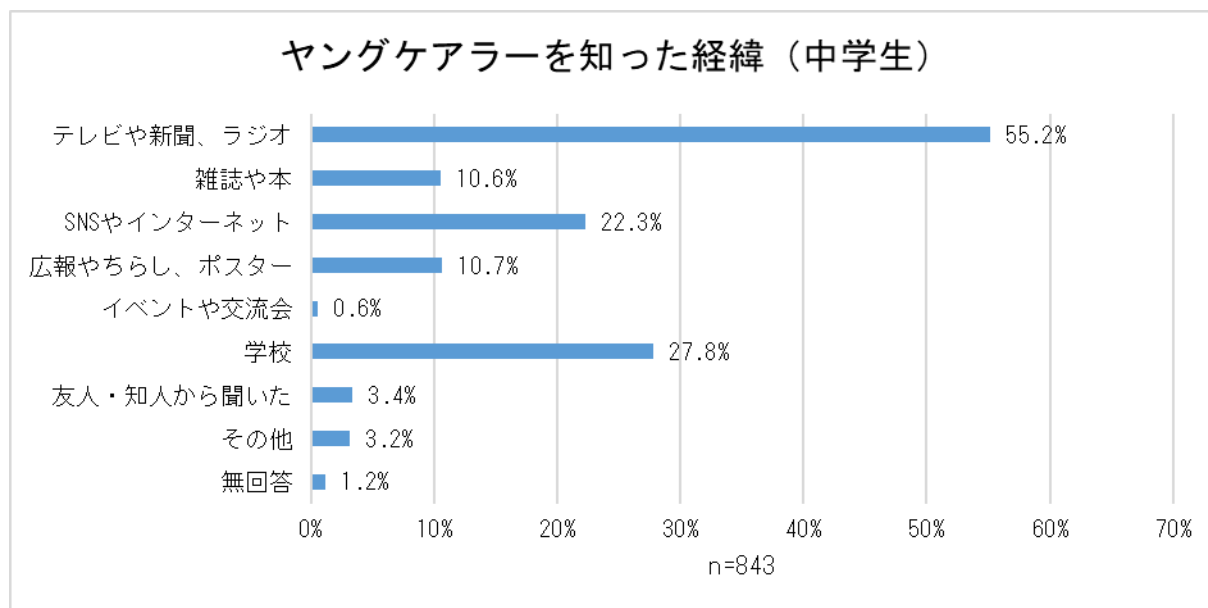
問8 「その他」を選択した方は、具体的な内容を教えてください。

「テレビ」352人、「雑誌、本」87人、「YouTube、SNS、インターネット」129人、「広報、チラシ、掲示物」168人、「学校」251人、「友人、知人から聞いた」25人、「その他」11人、無回答7人。

「その他」には、「学習塾」2人、「保護者」2人、「新聞」1人、「いところがヤングケアラー」1人などの回答がありました。



【参考】国調査 (令和2年度)



3. 家族や家庭について

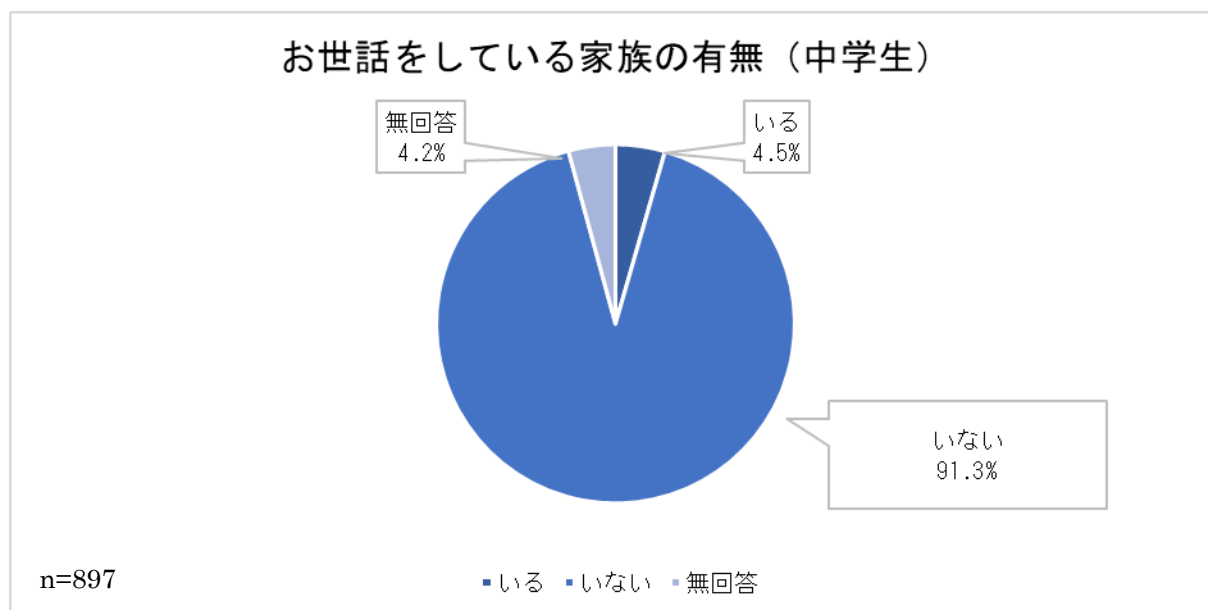
(1) お世話をしている家族の有無

問9 家族のなかに、あなたがお世話をしている人はいますか。(あてはまるもの1つにチェック。)

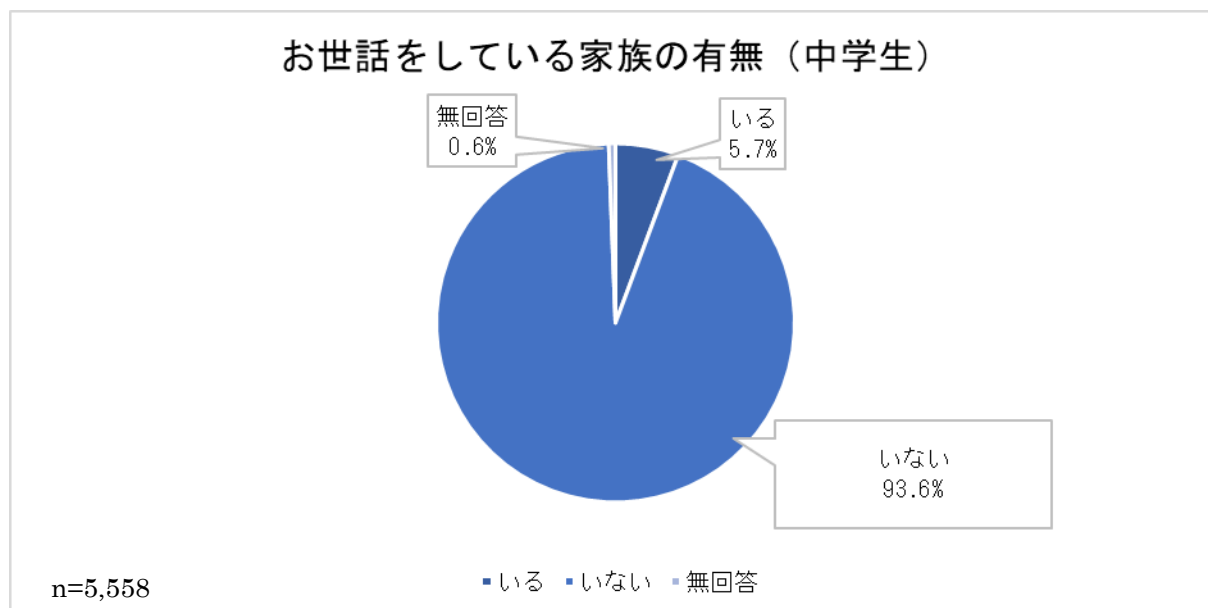
問10 あなたは誰のお世話をしていますか。(あてはまるもの全てにチェック。)

問11 「その他」を選択した方は、具体的な内容を教えてください。

「家族のお世話をしている」40人、「していない」819人、無回答38人。

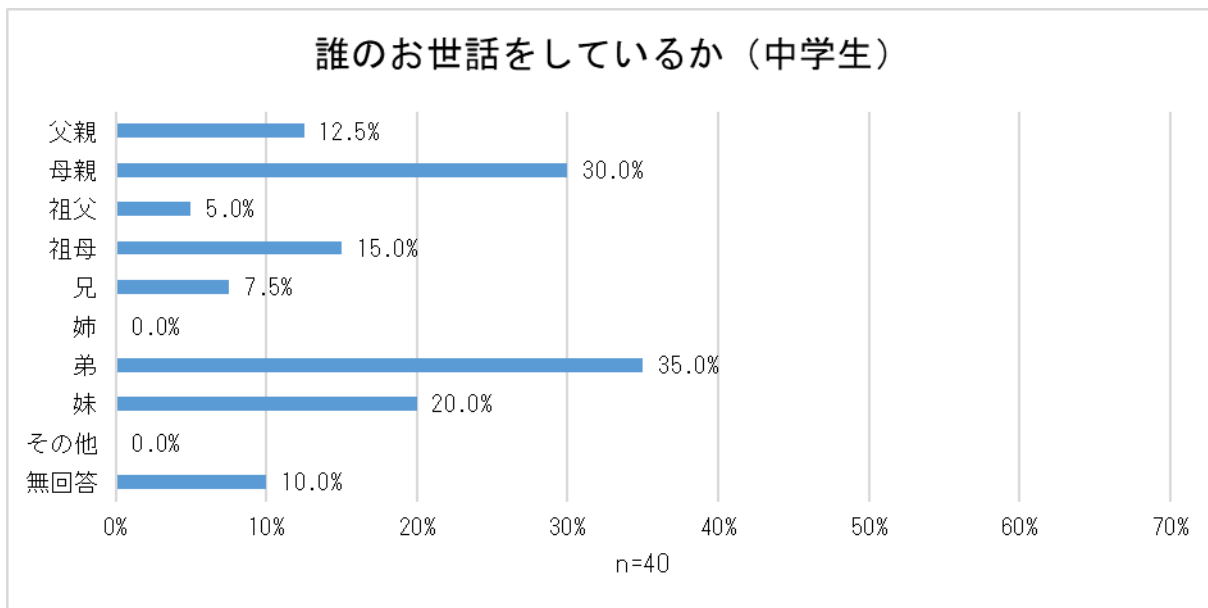


【参考】国調査 (令和2年度)

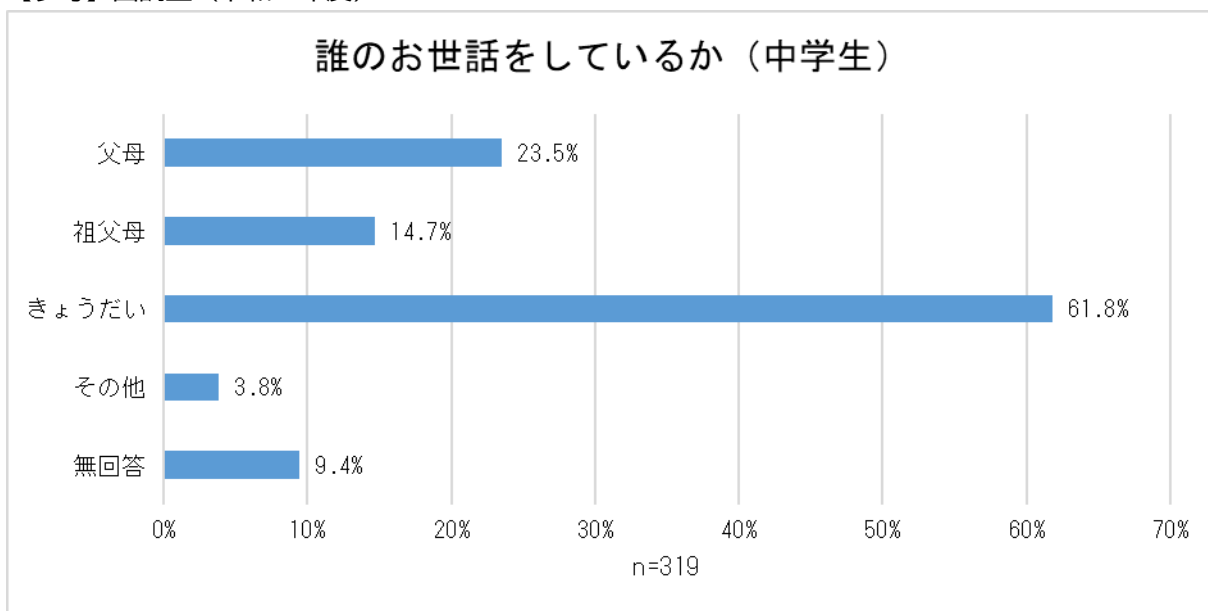


第2章 調査結果の詳細

お世話をしている家族がいる40人のうち、お世話の対象は、「父親」5人、「母親」12人、「祖父」2人、「祖母」6人、「兄」3人、「弟」14人、「妹」8人、無回答4人。



【参考】国調査（令和2年度）

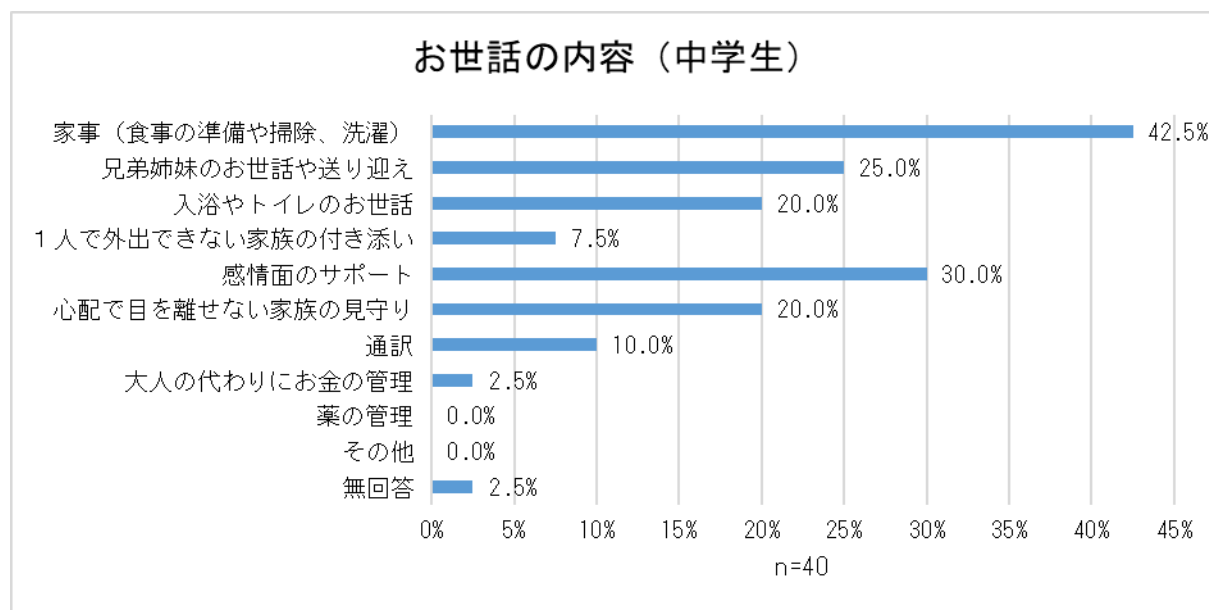


(2) お世話の内容

問12 あなたが家族のお世話をしている内容を教えてください。（あてはまるもの全てにチェック。）

問13 「その他」を選択した方は、具体的な内容を教えてください。

お世話をしている家族がいる40人のうち、お世話の内容は、「家事」17人、「兄弟姉妹のお世話や送り迎え」10人、「入浴やトイレのお世話」8人、「1人で外出できない家族の付き添い」3人、「感情面のサポート」12人、「心配で目が離せない家族の見守り」8人、「通訳」4人、「大人の代わりにお金の管理」1人、無回答1人。

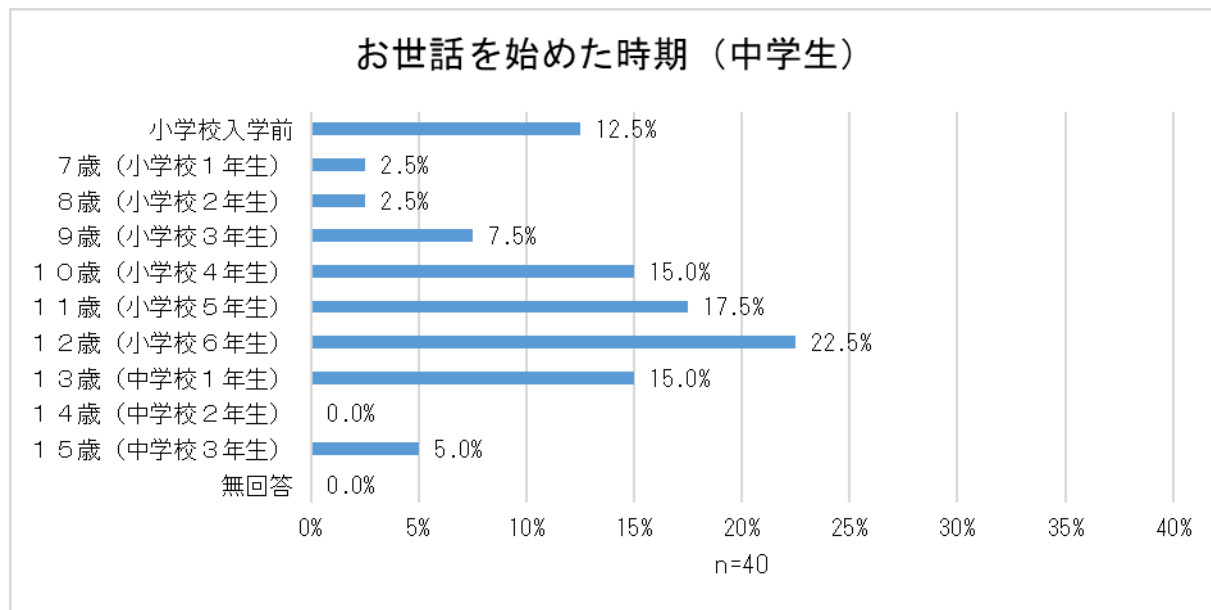


第2章 調査結果の詳細

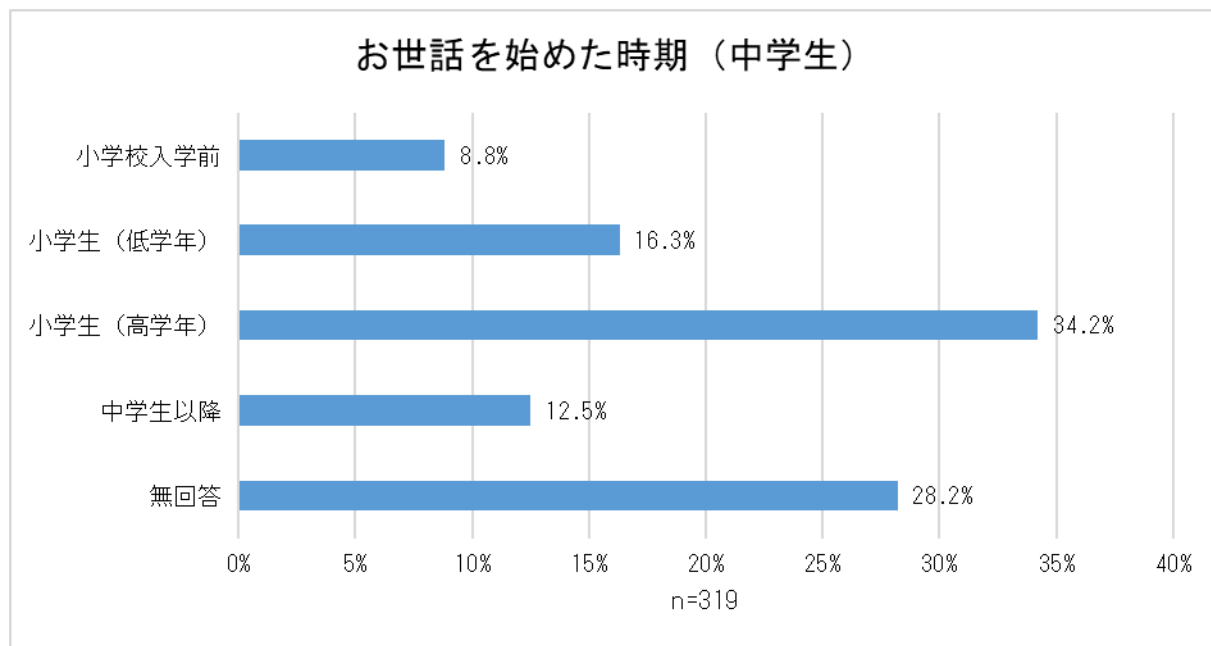
(3) お世話を始めた時期

問14 あなたは家族のお世話をいつからしていますか。(あてはまるもの1つにチェック。)

お世話をしている家族がいる40人のうち、お世話を始めた時期は、「小学校入学前」5人、「7歳(小学校1年生)」1人、「8歳(小学校2年生)」1人、「9歳(小学校3年生)」3人、「10歳(小学校4年生)」6人、「11歳(小学校5年生)」7人、「12歳(小学校6年生)」9人、「13歳(中学校1年生)」6人、「15歳(中学校3年生)」2人。



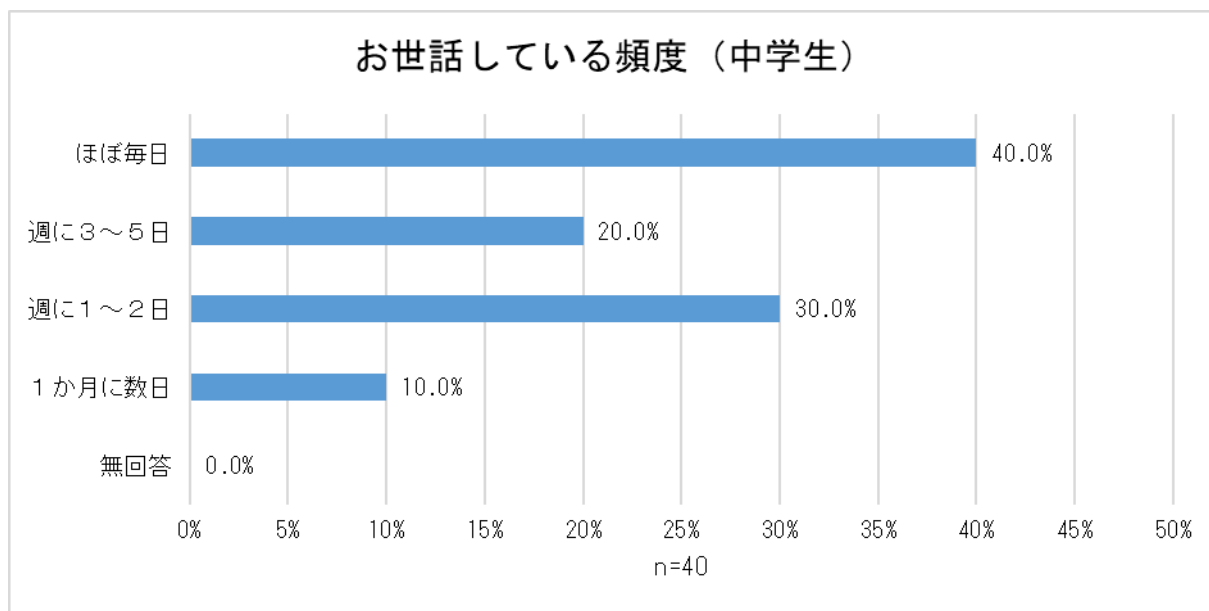
【参考】国調査(令和2年度)



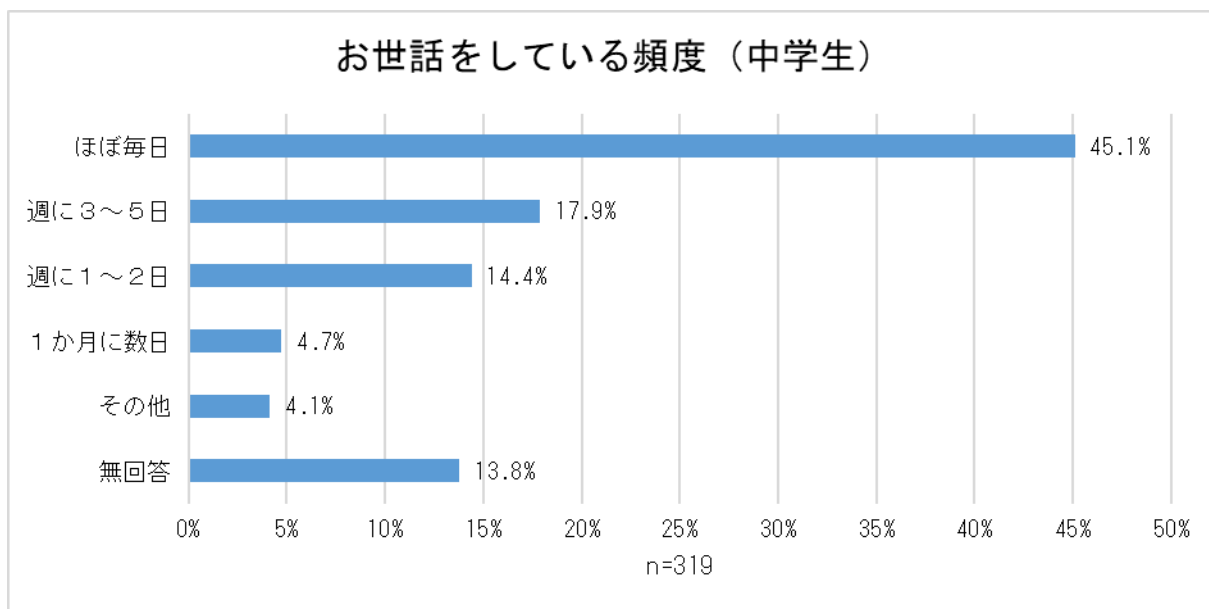
(4) お世話をしている頻度

問15 あなたが家族のお世話をしているのはどれくらいですか。(あてはまるもの1つにチェック。)

お世話をしている家族がいる40人のうち、お世話の頻度は、「ほぼ毎日」16人、「週に3～5日」8人、「週に1～2日」12人、「1か月に数日」4人。



【参考】国調査 (令和2年度)

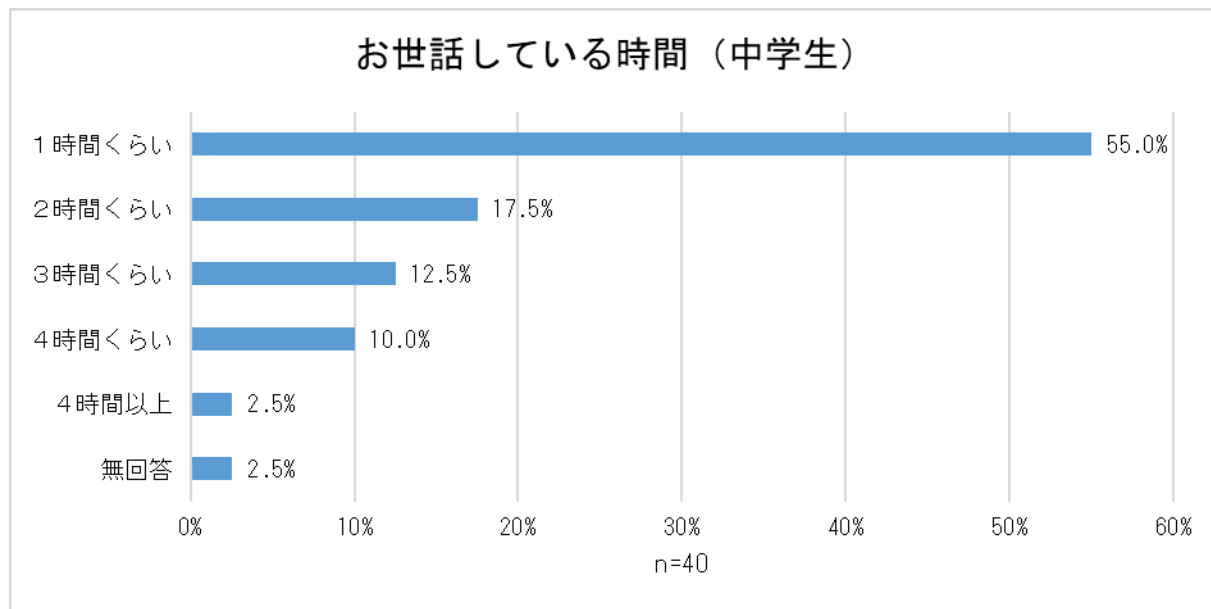


第2章 調査結果の詳細

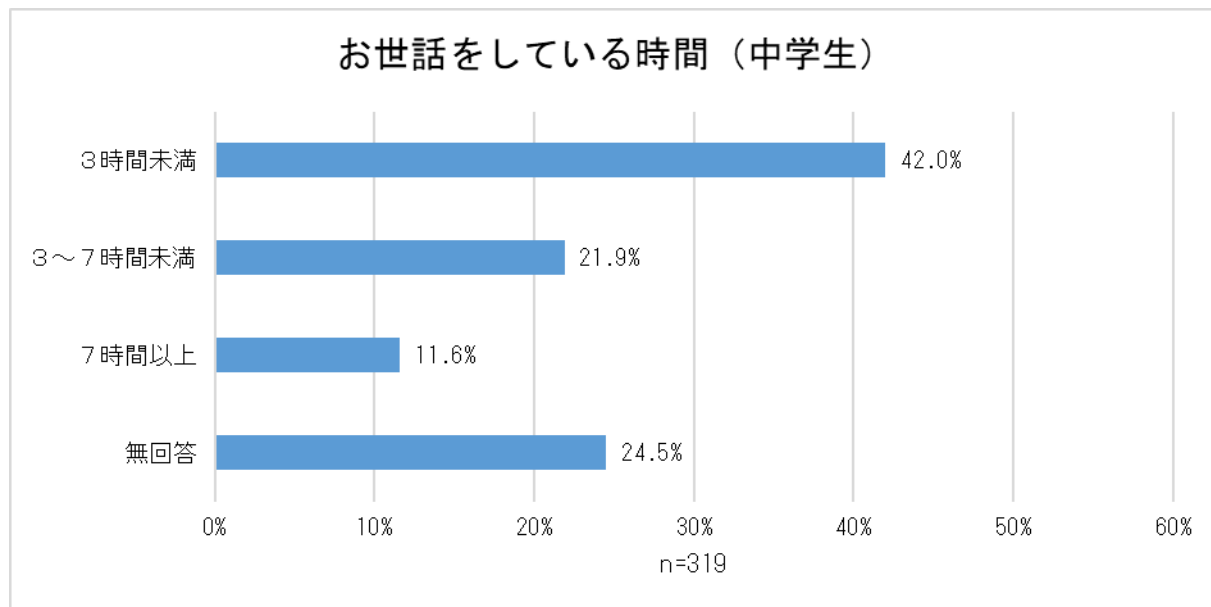
(5) お世話をしている時間

問16 あなたは1日何時間くらい家族のお世話をしていますか。(あてはまるもの1つにチェック。)

お世話をしている家族がいる40人のうち、お世話をしている時間は、「1時間くらい」22人、「2時間くらい」7人、「3時間くらい」5人、「4時間くらい」4人、「4時間以上」1人、無回答1人。



【参考】国調査 (令和2年度)



(6) お世話をしているために、やりたくてもできないこと

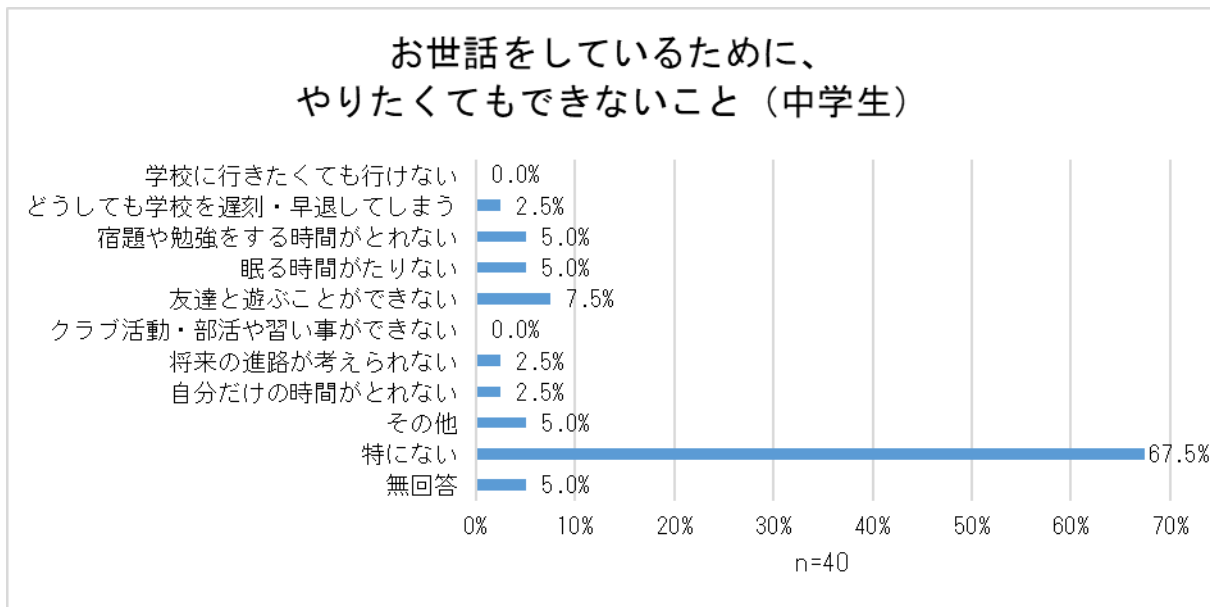
問17 家族のお世話をしているために、あなたがやりたくてもできないことはありますか。
 (あてはまるもの1つにチェック。)

問18 あなたができないことは、どのようなことですか。(あてはまるもの全てにチェック。)

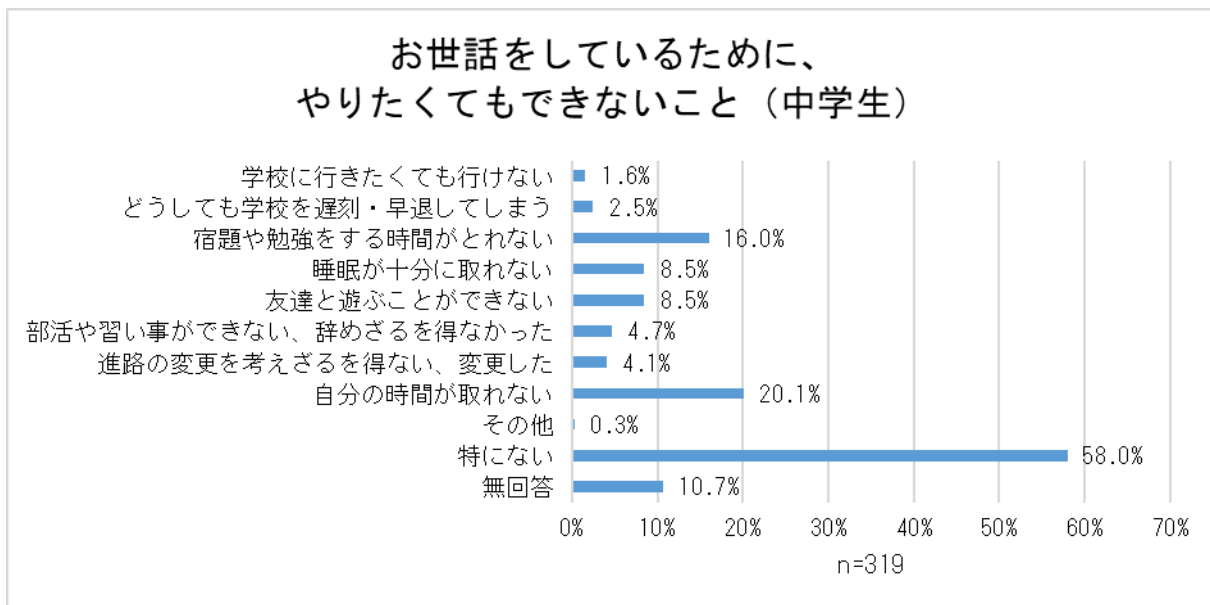
問19 「その他」を選択した方は、具体的な内容を教えてください。

お世話をしている家族がいる40人のうち、「お世話をしているために、やりたくてもできないことがある」13人、「ない」27人。

「やりたくてもできないことがある」13人のうち、やりたくてもできないことは、「どうしても学校を遅刻・早退してしまう」1人、「宿題や勉強をする時間が取れない」、「眠る時間がたりない」2人、「友達と遊ぶことができない」3人、「将来の進路が考えられない」1人、「自分だけの時間が取れない」1人、「その他」2人、無回答2人(「その他」に具体的な記載なし。)



【参考】国調査 (令和2年度)

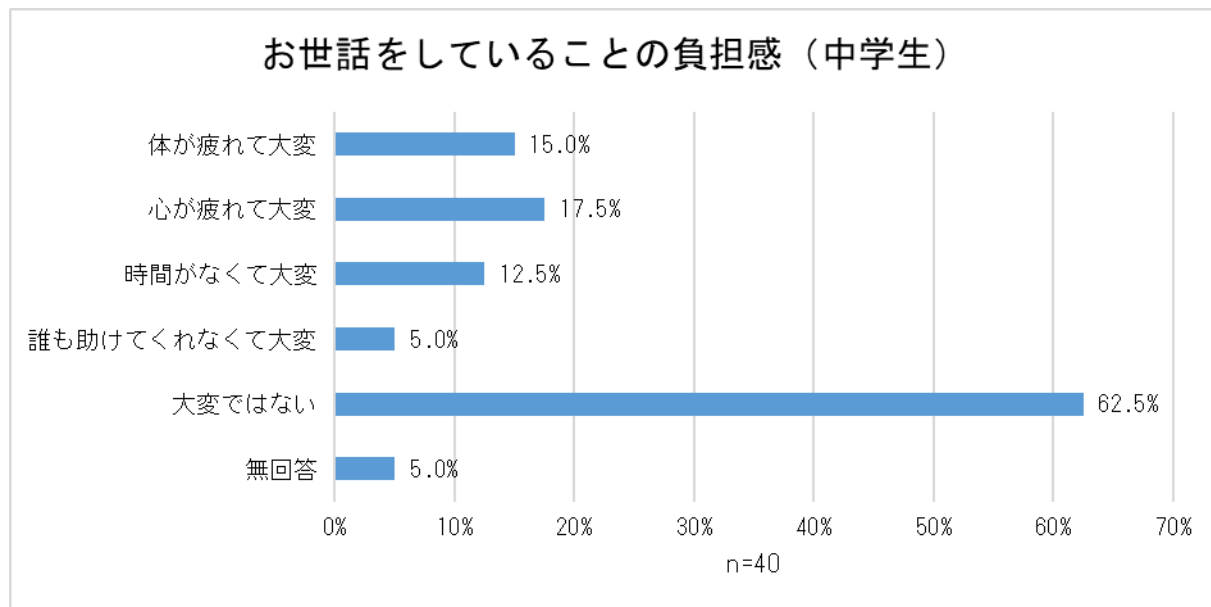


第2章 調査結果の詳細

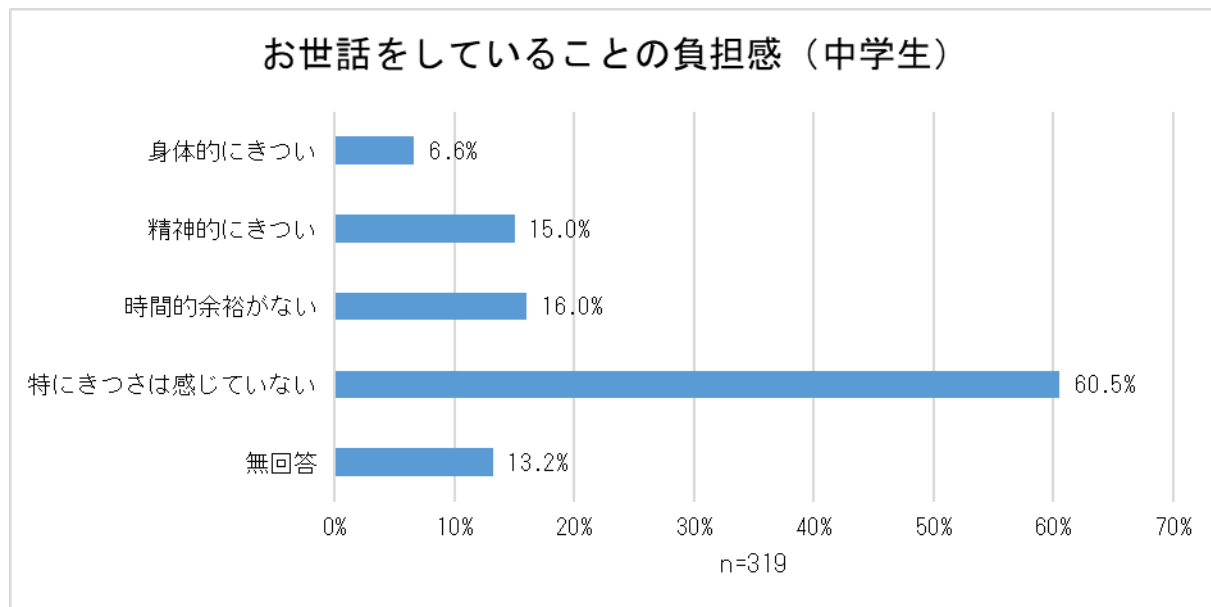
(7) お世話をしていることの負担感

問20 あなたは家族をお世話することに、大変さを感じていますか。（あてはまるもの全てにチェック。）

お世話をしている家族がいる40人のうち、お世話をしていることについて、「体が疲れて大変」6人、「心が疲れて大変」7人、「時間がなくて大変」5人、「誰も助けてくれなくて大変」2人、「大変ではない」25人、無回答2人。



【参考】国調査（令和2年度）



(8) お世話をしていることについての相談状況

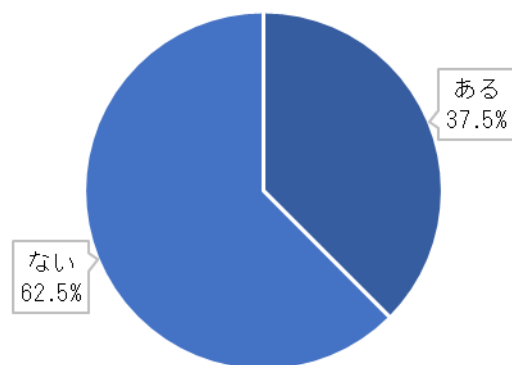
問21 あなたはお世話をしている家族のことや悩みなどを、誰かに相談したことがありますか。(あてはまるもの1つにチェック。)

問22 誰に相談しましたか。(あてはまるもの全てにチェック。)

問23 「その他」を選択した方は、具体的な内容を教えてください。

お世話をしている家族がいる40人のうち、「相談したことがある」15人、「ない」25人。

お世話をしていることの相談状況 (中学生)

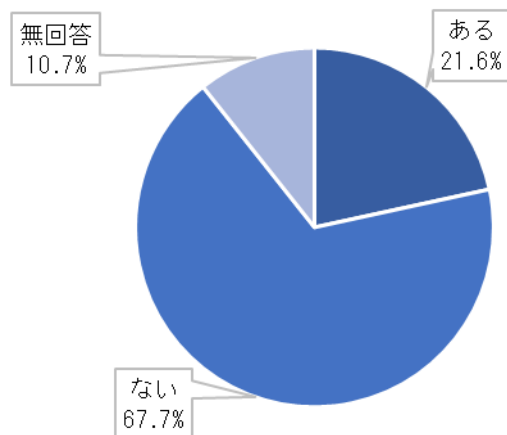


n=40

■ある ■ない

【参考】国調査 (令和2年度)

お世話をしていることの相談状況 (中学生)

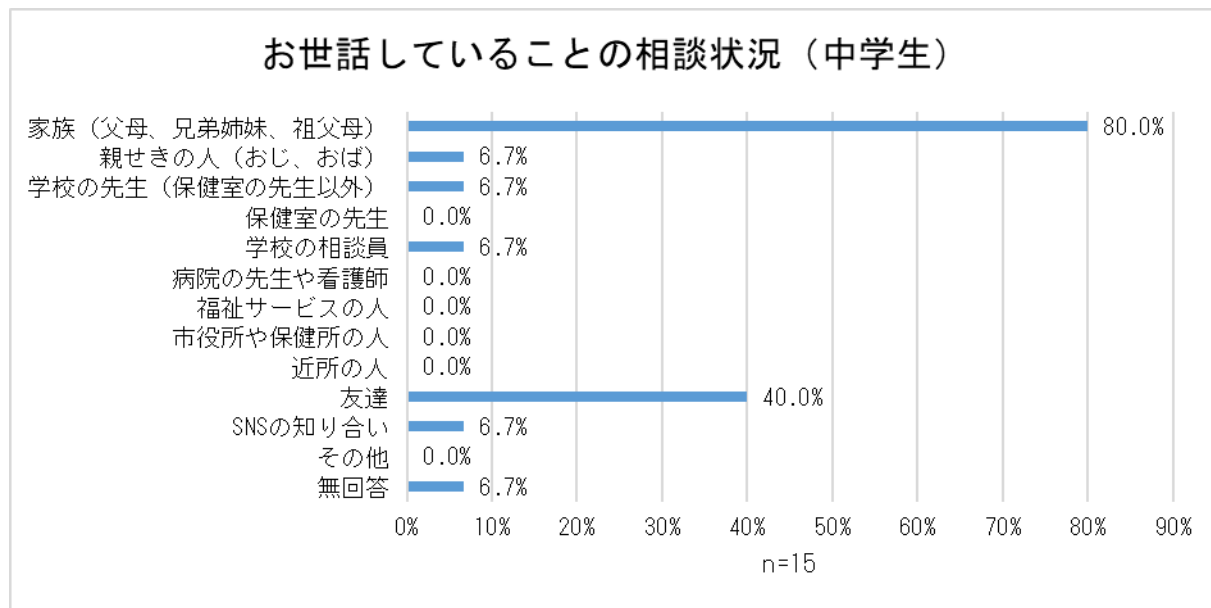


n=319

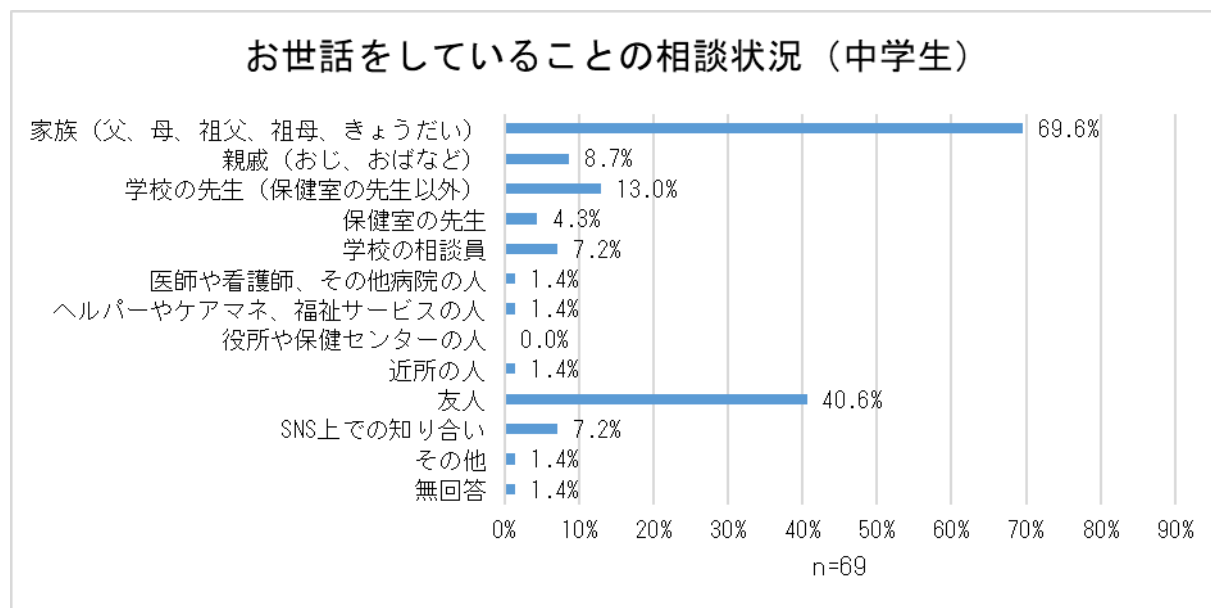
■ある ■ない ■無回答

第2章 調査結果の詳細

「相談したことがある」15人のうち、「家族（父母、兄弟姉妹、祖父母）」12人、「親せきの人（おじ、おば）」、「学校の先生（保健室の先生以外）」、「学校の相談員」1人、「友達」6人、「SNS上の知り合い」1人、無回答1人。



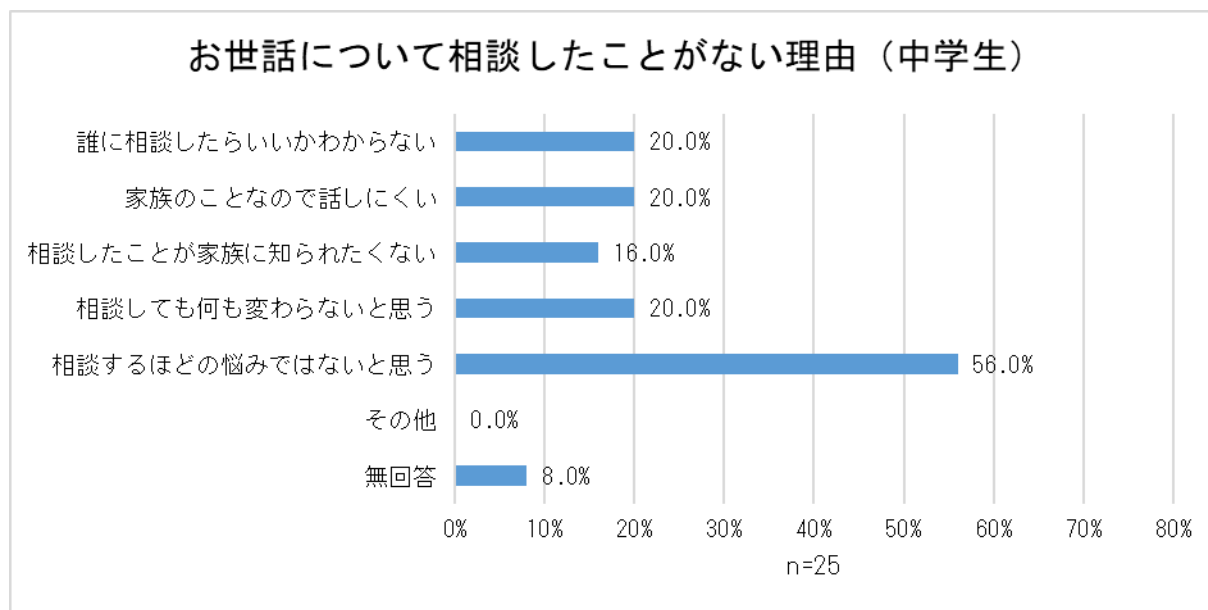
【参考】国調査（令和2年度）



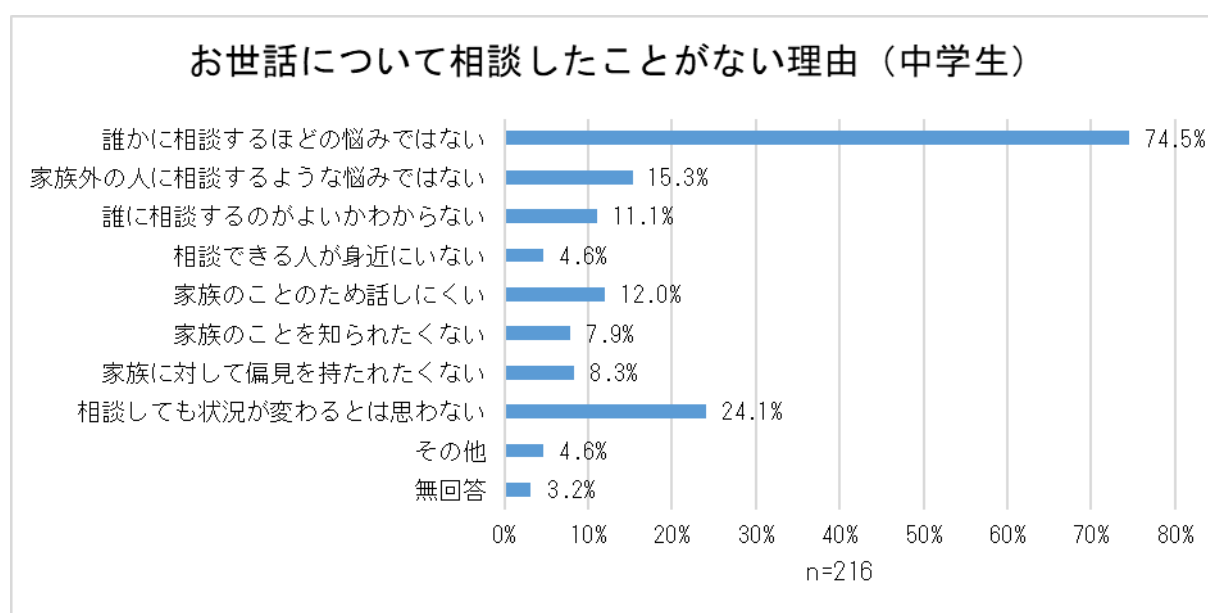
(9) お世話について相談したことが無い理由

問24 相談していない理由を教えてください。(あてはまるもの全てにチェック。)
 問25 「その他」を選択した方は、具体的な内容を教えてください。

家族のお世話について相談したことがない25人のうち、「誰に相談したらいいかわからない」、「家族のことなので話しにくい」5人、「相談したことが家族に知られたくない」4人、「相談しても何も変わらないと思う」5人、「相談するほどの悩みではない」14人、無回答2人。



【参考】国調査 (令和2年度)



(10) 学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援

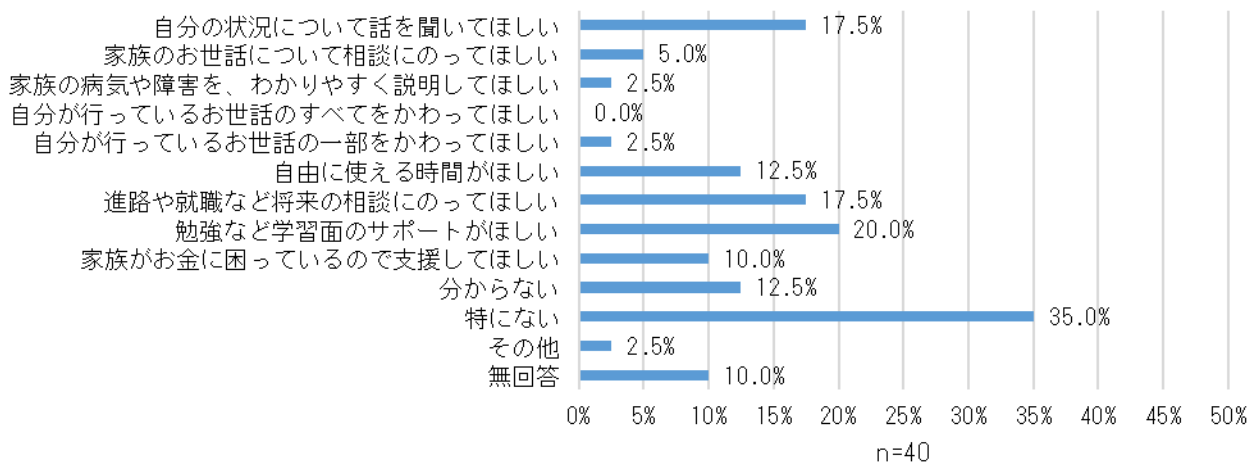
問26 学校の先生や周りの大人に助けてほしいこと、あったらいいなと思う支援はありますか。（あてはまるもの全てにチェック。）

問27 「その他」を選択した方は、具体的な内容を教えてください。

お世話をしている家族がいる40人のうち、学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援は、「自分の状況について話を聞いてほしい」7人、「家族のお世話について相談にのってほしい」2人、「家族の病気や障害について、わかりやすく説明してほしい」、「自分が行っているお世話の一部をかわってほしい」1人、「自由に使える時間がほしい」5人、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」7人、「勉強など学習面のサポートがほしい」8人、「家族がお金に困っているので支援してほしい」4人、「分からない」5人、「特にない」14人、「その他」1人、無回答4人。

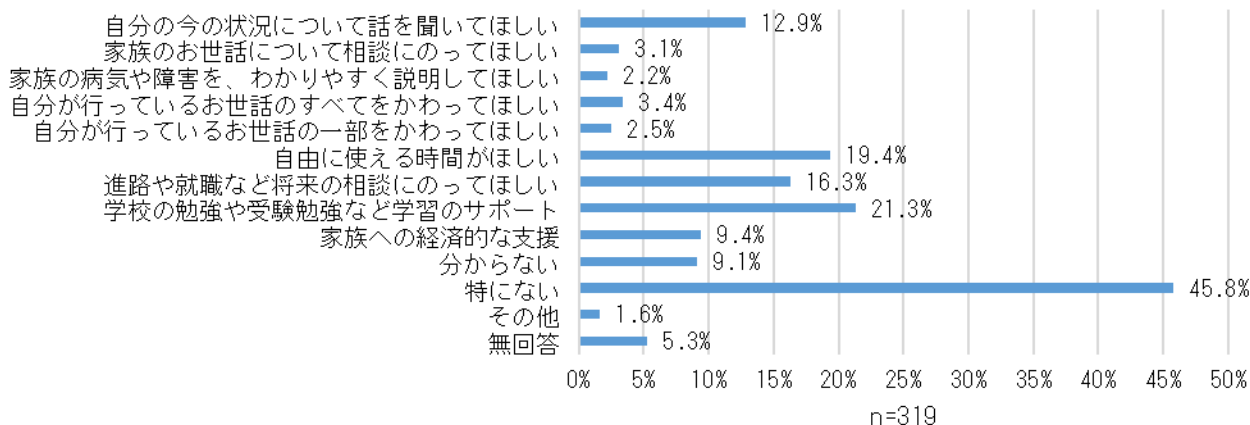
「その他」には、「ケアされている側の支援を充実させてほしい」などの回答がありました。

学校や大人にしてもらいたいこと、
必要な支援（中学生）



【参考】国調査（令和2年度）

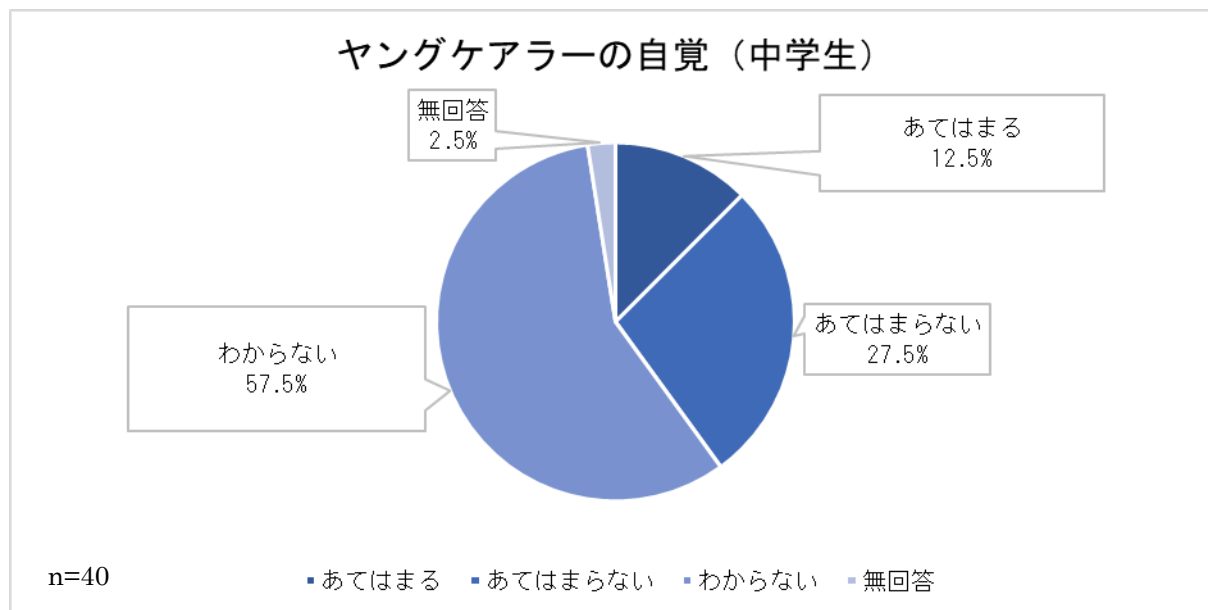
学校や大人にしてもらいたいこと、
必要な支援（中学生）



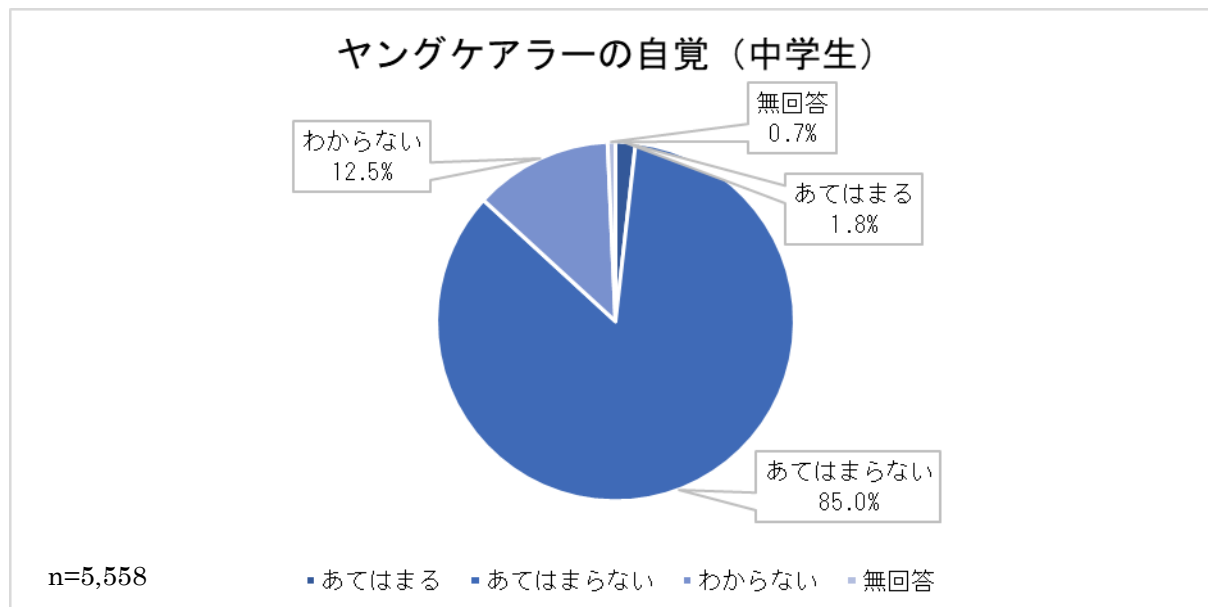
(11) ヤングケアラーの自覚

問28 あなたは自分が「ヤングケアラー」にあてはまると感じますか。（あてはまるもの1つにチェック。）

お世話をしている家族がいる40人のうち、ヤングケアラーに「あてはまる」と回答したのは5人、「あてはまらない」11人、「わからない」23人、無回答1人。



【参考】国調査（令和2年度）



4. その他（自由記述）

問29 このアンケート調査のほかに、あなたが困っていること、相談したいことはありますか。自由に記入してください。

202件中、「特にない」またはそれに類する回答174件を除外。28件中、重複を除く13件を抜粋して記載しています。回答者の表現を用いる形で記載していますが、一部表現を変更しています。

（1）学校生活

- ・学校の先生との関係に悩んでいる。
- ・クラス委員などの役割に悩んでいる。
- ・生徒の話を聞いてくれず、学校が物事を決めてしまう。
- ・勉強が難しい。勉強についていけない。テストでいい点数が取れない。
- ・勉強の仕方がわからない。

（2）友人関係

- ・友人との接し方がわからない。
- ・友人関係について相談したい。
- ・友人から悪口を言われる。

（3）家族関係

- ・家族との関係に悩んでいる。
- ・家族関係、友人関係に悩み、夜泣くことが多い。

（4）要望、求める支援

- ・男女差別について。
- ・ヤングケアラーは多いと思うので、ヤングケアラーの支援は大切だと思う。
- ・自分は安全で健全な中学校生活を送れているので困っていることや相談したいことは特にない。ヤングケアラーで困っている人が減ることを願っています。

5. 国が実施した調査結果との比較

(1) ヤングケアラーの認知度

- ・国が調査を実施した3年前の数値と比べて「ヤングケアラー」という言葉を知っている割合が高い。
- ・ヤングケアラーを知った経緯について、テレビの割合が高いが、SNS、啓発物や学校から知った割合も高い。

(2) 誰のお世話をしているか、お世話の内容

- ・お世話をしている家族が「いる」と答えた割合が国の調査より1.2%低い。
- ・年下のきょうだいのお世話をする割合が国の調査より高い。
- ・父母へのお世話の割合が国に比べて高い。

(3) お世話を始めた時期、頻度、時間

- ・小学校入学前からお世話を始めた割合が国の調査より高い。
- ・10歳以降からお世話を始めた割合が国より高い。
- ・お世話の頻度は「週1～2日」の割合が国より高い。
- ・お世話をしている時間について、3時間以上のお世話をしている子どもの割合は、国の調査よりも低い。

(4) お世話をしているためにやりたくてもできないこと、負担感

- ・やりたくてもできないことは「特にない」の割合が高く、国と同じ傾向が見られる。
- ・お世話をしていることの負担感は「大変ではない」の割合が高く、国と同じ傾向が見られる。
- ・お世話をしていることの負担感は「体が疲れて大変」の割合が国の調査より高い。

(5) お世話について相談したことが無い理由、必要な支援

- ・相談したことがない理由は「相談するほどの悩みではない」の割合が高く、国と同じ傾向が見られる。
- ・「誰に相談したらいいかわからない」、「家族のことなので話しにくい」の割合が国の調査より高い。
- ・学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援は「特にない」の割合が国の調査より低い。
- ・学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援は「わからない」の割合が国の調査より高い。
- ・「自分の状況について話を聞いてほしい」の割合が国の調査より高い。

第3章 調査結果取りまとめ、考察、今後の支援の方向性

1. 調査結果取りまとめ、分析

(1) ヤングケアラーの認知度

①ヤングケアラーの認知度 (%)

	回答数(人)	聞いたことがあり、内容も知っていた	聞いたことはあるが、内容は知らなかった	聞いたことはなかった
小学生	1,320	31.7%	24.2%	44.1%
中学生	897	43.8%	20.7%	35.5%

②ヤングケアラーを知った経緯 (%)

	回答数	テレビ	雑誌・本	ユーチューブ・SNS・インターネット	広報・チラシ・掲示物	学校	友人・知人から聞いた	その他	無回答
小学生	738	61.8%	18.2%	26.3%	27.0%	28.7%	7.9%	5.3%	0.7%
中学生	579	60.8%	15.0%	22.3%	29.0%	43.4%	4.3%	1.9%	1.2%

【参考】国調査 「ヤングケアラー」の概念の認識

(ヤングケアラーの概念の認識について中学校に確認した状況)

	言葉を知らない	言葉は聞いたことがあるが、具体的には知らない	言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない	言葉を知っており、学校として意識して対応している	無回答
小学校教員	0.4%	6.1%	51.0%	41.4%	0.8%
中学校教員	25.7%	15.1%	37.9%	20.2%	1.1%

(2) ヤングケアラーの状況

①お世話をしている家族の有無 (%)

	調査数 (人)	いる	いない	無回答
小学生	1,320	9.1%	86.7%	4.2%
中学生	897	4.5%	91.3%	4.2%

②お世話をしている家族の有無×家族構成 (%)

		回答数 (人)	二世 代世帯	三世 代世帯	ひとり 親家庭	その他 世帯
小学生	いる	120	89.2%	5.0%	4.2%	1.7%
	いない	1,144	85.9%	7.7%	5.9%	0.5%
中学生	いる	40	70.0%	25.0%	2.5%	2.5%
	いない	819	83.2%	7.3%	8.3%	1.2%

③お世話をしている家族の有無×健康状態 (%)

		回答数 (人)	よい	まあ よい	ふつ う	あまり よくない	よく ない
小学生	いる	120	45.8%	18.3%	30.0%	5.8%	0.0%
	いない	1,144	58.0%	20.2%	18.0%	2.6%	1.2%
中学生	いる	40	42.5%	27.5%	17.5%	12.5%	0.0%
	いない	739	54.1%	22.3%	19.0%	4.2%	0.4%

第3章 調査結果取りまとめ、考察、今後の支援の方向性

(3) ヤングケアラーの世帯構成

①世帯構成×お世話をしている家族

(%)

		回答数(人)	父親	母親	祖父	祖母	兄	姉	弟	妹	その他	無回答
小学生	二世帯世帯	107人	15.0%	18.7%	0.0%	2.8%	2.8%	2.8%	31.8%	27.1%	13.1%	13.1%
	三世帯世帯	6人	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	66.7%	16.7%	33.3%	0.0%
	ひとり親世帯	5人	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%
	その他世帯	2人	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
中学生	二世帯世帯	28人	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	46.4%	21.4%	0.0%	10.7%
	三世帯世帯	10人	10.0%	30.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	10.0%
	ひとり親世帯	1人	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他世帯	1人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

②世帯構成×お世話を始めた時期

(%)

		回答数(人)	小学校入学前	7歳(小学校1年生)	8歳(小学校2年生)	9歳(小学校3年生)	10歳(小学校4年生)	11歳(小学校5年生)	12歳(小学校6年生)	13歳(中学校1年生)	14歳(中学校2年生)	15歳(中学校3年生)	無回答
小学生	二世帯世帯	107人	23.4%	10.3%	6.5%	12.1%	20.6%	17.8%	4.7%	-	-	-	4.7%
	三世帯世帯	6人	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	-	-	-	0.0%
	ひとり親世帯	5人	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	-	-	-	20.0%
	その他世帯	2人	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	0.0%
中学生	二世帯世帯	28人	10.7%	3.6%	0.0%	10.7%	17.9%	21.4%	17.9%	14.3%	0.0%	3.6%	0.0%
	三世帯世帯	10人	20.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	ひとり親世帯	1人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他世帯	1人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

③世帯構成×お世話をしている頻度 (%)

		回答数 (人)	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1か月に数日	無回答
小学生	二世帯世帯	107人	43.0%	21.5%	23.4%	6.5%	5.6%
	三世帯世帯	6人	50.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	ひとり親世帯	5人	20.0%	20.0%	0.0%	40.0%	20.0%
	その他世帯	2人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
中学生	二世帯世帯	28人	46.4%	10.7%	35.7%	7.1%	0.0%
	三世帯世帯	10人	30.0%	50.0%	10.0%	10.0%	0.0%
	ひとり親世帯	1人	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	その他世帯	1人	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

④世帯構成×お世話をしている時間 (%)

		回答数 (人)	1時間くらい	2時間くらい	3時間くらい	4時間くらい	4時間以上	無回答
小学生	二世帯世帯	107人	57.9%	10.3%	7.5%	2.8%	15.0%	6.5%
	三世帯世帯	6人	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%
	ひとり親世帯	5人	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	その他世帯	2人	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
中学生	二世帯世帯	28人	57.1%	17.9%	3.6%	14.3%	3.6%	3.6%
	三世帯世帯	10人	50.0%	20.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	ひとり親世帯	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他世帯	1人	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

第3章 調査結果取りまとめ、考察、今後の支援の方向性

⑤世帯構成×やりたくてもできないこと

(%)

		回答数(人)	学校に行きたくても行けない	学校を遅刻・早退してしまう	宿題や勉強をする時間がとれない	眠る時間がたりない	友達と遊ぶことができない	クラブ活動・部活や習い事ができない	将来の進路が考えられない	自分だけの時間がとれない	その他	特にない	無回答
小学生	二世帯世帯	107人	1.9%	0.9%	5.6%	7.5%	7.5%	0.0%	0.0%	10.3%	0.9%	66.4%	4.7%
	三世帯世帯	6人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	ひとり親世帯	5人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	60.0%	20.0%
	その他世帯	2人	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
中学生	二世帯世帯	28人	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	10.7%	0.0%	3.6%	3.6%	7.1%	57.1%	7.1%
	三世帯世帯	10人	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.0%	0.0%
	ひとり親世帯	1人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	その他世帯	1人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

(4) ヤングケアラーの自覚の有無

①ヤングケアラーの自覚×ヤングケアラーの認知度 (%)

		回答数 (人)	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない
小学生	あてはまる	16人	56.3%	6.3%	37.5%	0.0%	0.0%
	あてはまらない	32人	50.0%	12.5%	37.5%	0.0%	0.0%
	わからない	68人	39.7%	25.0%	25.0%	10.3%	0.0%
中学生	あてはまる	5人	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	あてはまらない	11人	54.5%	18.2%	18.2%	9.1%	0.0%
	わからない	23人	34.8%	34.8%	13.0%	17.4%	0.0%

②ヤングケアラーの自覚×お世話をしている頻度 (%)

		回答数 (人)	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1か月に数回	無回答
小学生	あてはまる	16人	43.8%	31.3%	18.8%	6.3%	0.0%
	あてはまらない	32人	31.3%	15.6%	25.0%	12.5%	15.6%
	わからない	68人	51.5%	22.1%	22.1%	4.4%	0.0%
中学生	あてはまる	5人	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	あてはまらない	11人	27.3%	18.2%	36.4%	18.2%	0.0%
	わからない	23人	34.8%	26.1%	30.4%	8.7%	0.0%

第3章 調査結果取りまとめ、考察、今後の支援の方向性

③ヤングケアラーの自覚×お世話をしている時間 (%)

		回答数 (人)	1時間 くらい	2時間 くらい	3時間 くらい	4時間 くらい	4時間 以上	無回答
小学生	あてはまる	16人	75.0%	12.5%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%
	あてはまらない	32人	56.3%	12.5%	0.0%	6.3%	6.3%	18.8%
	わからない	68人	51.5%	13.2%	13.2%	2.9%	17.6%	1.5%
中学生	あてはまる	5人	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%
	あてはまらない	11人	63.6%	27.3%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	わからない	23人	52.2%	13.0%	17.4%	13.0%	0.0%	4.3%

④ヤングケアラーの自覚×お世話の内容 (%)

		回答数 (人)	家事 (食事の準備や掃除、 洗濯)	兄弟姉妹のお世話や送り迎え	入浴やトイレのお世話	1人で外出できない家族の 付き添い	感情面のサポート	見守り	心配で目を離せない家族の	通訳	大人の代わりにお金の管理	薬の管理	無回答
小学生	あてはまる	16人	31.3%	56.3%	18.8%	18.8%	25.0%	6.3%	0.0%	0.0%	18.8%	18.8%	
	あてはまらない	32人	43.8%	18.8%	18.8%	6.3%	6.3%	6.3%	12.5%	0.0%	0.0%	15.6%	
	わからない	68人	35.3%	30.9%	26.5%	14.7%	17.6%	14.7%	1.5%	2.9%	7.4%	2.9%	
中学生	あてはまる	5人	40.0%	40.0%	40.0%	0.0%	40.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	
	あてはまらない	11人	63.6%	36.4%	9.1%	18.2%	36.4%	27.3%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
	わからない	23人	30.4%	17.4%	21.7%	4.3%	26.1%	17.4%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	

第3章 調査結果取りまとめ、考察、今後の支援の方向性

⑤ヤングケアラーの自覚×やりたくてもできないこと (%)

		回答数(人)	学校に行きたくても行けない	学校を遅刻・早退してしまう	宿題や勉強をする時間がとれない	眠る時間がたりない	友達と遊ぶことができない	クラブ活動・部活や習い事ができない	将来の進路が考えられない	自分だけの時間がとれない	特になし	無回答
小学生	あてはまる	16人	6.3%	6.3%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.8%	56.3%	18.8%
	あてはまらない	32人	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	6.3%	0.0%	0.0%	3.1%	81.3%	0.0%
	わからない	68人	1.5%	0.0%	7.4%	10.3%	7.4%	0.0%	0.0%	13.2%	64.7%	2.9%
中学生	あてはまる	5人	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%
	あてはまらない	11人	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	81.8%	0.0%
	わからない	23人	0.0%	4.3%	4.3%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	4.3%	69.6%	4.3%

⑥ヤングケアラーの自覚×学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援 (%)

		回答数(人)	自分の状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談のつてほしい	家族の病気等についてわかりやすく説明してほしい	自分が行っているお世話の全てをかわってほしい	自分が行っているお世話の一部をかわってほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職などの相談のつてほしい	勉強など学習面のサポートがほしい	家族がお金に困っているのを支援してほしい	特になし	無回答
小学生	あてはまる	16人	37.5%	37.5%	6.3%	6.3%	0.0%	18.8%	12.5%	18.8%	6.3%	25.0%	18.8%
	あてはまらない	32人	9.4%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	3.1%	3.1%	0.0%	0.0%	75.0%	6.3%
	わからない	68人	20.6%	5.9%	1.5%	2.9%	4.4%	11.8%	7.4%	10.3%	1.5%	41.2%	0.0%
中学生	あてはまる	5人	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	あてはまらない	11人	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	18.2%	18.2%	18.2%	54.5%	9.1%
	わからない	23人	21.7%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	4.3%	17.4%	21.7%	8.7%	34.8%	4.3%

第3章 調査結果取りまとめ、考察、今後の支援の方向性

(5) ヤングケアラーの負担感

①お世話をしていることの負担感×お世話の頻度 (％)

		回答数(人)	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1か月に数回	無回答
小学生	体が疲れて大変	33人	48.5%	15.2%	30.3%	6.1%	0.0%
	心が疲れて大変	11人	27.3%	27.3%	36.4%	9.1%	0.0%
	時間がなくて大変	18人	38.9%	50.0%	11.1%	0.0%	0.0%
	誰も助けてくれなくて大変	4人	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	大変ではない	64人	45.3%	18.8%	25.0%	9.4%	1.6%
中学生	体が疲れて大変	6人	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	心が疲れて大変	7人	28.6%	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%
	時間がなくて大変	5人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	誰も助けてくれなくて大変	2人	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	大変ではない	25人	32.0%	20.0%	36.0%	12.0%	0.0%

②お世話をしていることの負担感×お世話をしている時間 (％)

		回答数(人)	1時間くらい	2時間くらい	3時間くらい	4時間くらい	4時間以上	無回答
小学生	体が疲れて大変	33人	45.5%	18.2%	9.1%	0.0%	27.3%	0.0%
	心が疲れて大変	11人	45.5%	27.3%	9.1%	0.0%	18.2%	0.0%
	時間がなくて大変	18人	50.0%	5.6%	5.6%	0.0%	38.9%	0.0%
	誰も助けてくれなくて大変	4人	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	大変ではない	64人	64.1%	9.4%	9.4%	6.3%	7.8%	3.1%
中学生	体が疲れて大変	6人	0.0%	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%
	心が疲れて大変	7人	28.6%	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%
	時間がなくて大変	5人	20.0%	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	誰も助けてくれなくて大変	2人	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	大変ではない	25人	72.0%	8.0%	12.0%	8.0%	0.0%	0.0%

第3章 調査結果取りまとめ、考察、今後の支援の方向性

③お世話をしていることの負担感×お世話をしていることの相談状況 (%)

		回答数 (人)	相談した ことがある	相談した こと はない
小学生	体が疲れて大変	33人	36.4%	63.6%
	心が疲れて大変	11人	36.4%	63.6%
	時間がなくて大変	18人	50.0%	50.0%
	誰も助けてくれなくて大変	4人	50.0%	50.0%
	大変ではない	64人	17.2%	82.8%
中学生	体が疲れて大変	6人	66.7%	33.3%
	心が疲れて大変	7人	28.6%	71.4%
	時間がなくて大変	5人	60.0%	40.0%
	誰も助けてくれなくて大変	2人	0.0%	100.0%
	大変ではない	25人	28.0%	72.0%

④お世話をしていることの負担感×お世話について相談したことが無い理由 (%)

		回答数 (人)	誰に相談したらいい かわからない	家族のことなので話 しにくい	相談したことが家族 に知られたくない	相談しても何も変わ らないと思う	相談するほどの悩み ではないと思う	無回答
小学生	体が疲れて大変	21人	19.0%	19.0%	0.0%	23.8%	42.9%	0.0%
	心が疲れて大変	7人	0.0%	42.9%	42.9%	14.3%	42.9%	0.0%
	時間がなくて大変	9人	44.4%	11.1%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%
	誰も助けてくれなくて大変	2人	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	大変ではない	53人	1.9%	3.8%	3.8%	5.7%	64.2%	15.1%
中学生	体が疲れて大変	2人	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	心が疲れて大変	5人	40.0%	60.0%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%
	時間がなくて大変	2人	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	誰も助けてくれなくて大変	2人	50.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	大変ではない	18人	11.1%	11.1%	5.6%	11.1%	66.7%	5.6%

2. 朝霞市の状況

(1) ヤングケアラーの認知度

- ・国が調査を実施した3年前に比べて「ヤングケアラー」の認知度が高まっており、社会的な関心の高まりや広報啓発活動の効果があると考えられる。
- ・知った経緯について、啓発物や学校から聞いた割合が高く、広報啓発活動の効果が見られるものの、「ヤングケアラー」について聞いたことが無い割合も依然高く、更なる啓発を続ける必要がある。
- ・教育現場の教員向けにも、ヤングケアラーの支援の必要性に関する啓発や研修の機会が必要。

(2) 誰のお世話をしているか、お世話の内容

- ・小学生の調査において、9.1%の子どもが家族のお世話をしていると回答している。その中で、通訳、お金の管理、薬の管理、家事など、子どもにとって大きな負担があるようなお世話も含まれている。
- ・「ヤングケアラー」の定義として、どのような状況が「ヤングケアラー」なのかを明確にし、子どもに伝える必要がある。家庭における「お手伝い」と「家族のお世話(ケア)」が混同してしまうと、お手伝いの感覚でお世話をしている子どももいるのではないか。
- ・家庭における「お手伝い」と「家族のお世話(ケア)」が混同することで、自分自身がヤングケアラーだと気付かず、ヤングケアラーが潜在化してしまうのではないか。
- ・お世話をしている家族の有無と家族構成について、ひとり親世帯にヤングケアラーが多い印象があったが、家族構成に関わらずヤングケアラーがいることがわかった。
- ・朝霞市では高齢者よりもきょうだいのお世話をしている家族が多く、地域性が関連している可能性がある。

(3) お世話を始めた時期、頻度、時間

- ・お世話を始めた時期について、小学校入学前、小学校高学年から始めた割合が高いことを考えると、子どもの学年が上がるにつれて下の子の面倒を見ている傾向があると推測できる。
- ・ほぼ毎日お世話をしている割合が高く、週1回以上家族のお世話をしている子どもの割合は9割。
- ・1回のお世話の時間は、1時間くらいが最も多い一方、なかには4時間以上のお世話をしていることから、重いケアを担っている子どもがいると推測できる。

(4) お世話をしているためにやりたくてもできないこと、負担感

- ・負担感について、小学生、中学生それぞれ「大変」と感じている子どもが50%を超える反面、負担感について「大変ではない」と答えた子どもの割合が最も高いことを考えると、子どもたちのお世話の状況が日常化しているのではないか。
- ・お世話をしているためにやりたくてもできないことは「特になし」子どもが多く、負担感も感じていない子どもも多いことから、子どものお世話の状況が常態化しているのではないか。
- ・お世話をしているためにやりたくてもできないことは「特になし」子どもが多くいる中で、負担感として身体的、精神的な面を上げている子どもが国よりも多いことが懸念される。

(5) お世話について相談したことが無い理由、必要な支援

- ・相談したことが無い理由として「相談するほどの悩みではない」、「誰に相談してよいかわからない」、「家族のことを知られたくない」と感じている子どもが大半を占めている。子どもたちに相談ができる場を周知し、相談へのハードルを下げ、誰でも相談しやすい環境を作っていく取り組みが重要。
- ・小学生、中学生ともに、話を聞いてほしいという思いが調査結果から読み取れる。相談に乗ることができる機関を増やし、子ども、保護者、支援者に周知する必要がある。
- ・必要な支援について「特にない」、「わからない」の割合が高く、子どもたちにヤングケアラーの自覚が無いことや、支援策を知らない状況なのではないか。また、子どもたちがそのような状況にいることを、周りの大人（保護者や支援者等）が気づいていないのではないか。

第3章 調査結果取りまとめ、考察、今後の支援の方向性

3. 今後の支援の方向性について

(1) ヤングケアラー及び子どもの権利条約の周知啓発と理解促進

ヤングケアラーに関する子どもの認知度は高まりつつあるものの、4割前後の子どもがヤングケアラーという言葉を知ることが無いと回答しているため、小中学校と連携してヤングケアラーの認知度を高めるため、より一層の広報啓発が必要と考えられます。

家族のお世話が日常化・常態化していることから、自らがヤングケアラーだと気が付いていないことも考えられます。子ども自身が、ヤングケアラーの現状や定義について正しく理解できるように、繰り返し、直接的に啓発するなど、積極的な取り組みをする必要があります。

また、子どもばかりでなく、大人（市民、保護者、支援者等）も、ヤングケアラーの状況について正しく認識し、ヤングケアラーの支援の重要性について理解が進められるよう、地域に向けての啓発や、支援者向けの研修会開催などが重要です。

ヤングケアラーは、家族のお世話の負担が大きいことなどから、「教育を受ける権利」、「休み・遊ぶ権利」、「生きる権利・育つ権利」など「子どもの権利条約」に定められた権利が侵害されている可能性があります。その結果、進学をあきらめてしまうなど、将来に影響を及ぼす恐れもあるため、子どもの権利を守るための支援を行う必要もあることから、子どもの権利条約についても広報啓発を行う必要があります。

(2) ヤングケアラーを適切に把握し、つなぐための相談体制整備

子どもに接する機会の多い支援者が、ヤングケアラー支援の重要性について認識したうえで、子どもが気軽に相談できる体制をつくり、支援を望んでいる子どもを取り残さないことが重要です。

実態調査では、小学校高学年から家族のお世話が始まる結果となっていることから、子どもの年齢に応じた見守りをするにより、支援者がヤングケアラーを早期に把握し、寄り添い、相談につなげることが大切です。

子どもが相談しやすい場所や相談先の情報を子どもに伝えるとともに、家族の状況や保護者の状況などにより、導入できる行政サービスをまとめ、保護者や支援者に周知するなど、地域全体で相談窓口を共有する仕組みづくりをすることが必要です。

(3) 関係機関との連携した支援

ヤングケアラーに気づき、寄り添い、話を聞くなど「学校、身近な大人や支援者ができること」、相談支援や行政サービスの導入など「行政ができること」、ヤングケアラーを理解し、子ども食堂や学習支援などを通じた支援として「地域ができること」を整理し、それぞれが連携して子どもや家庭を支えることが大切です。

ヤングケアラーは子どもだけの問題としてとらえるのではなく、家族全体の支援が必要という認識を持ち、その家庭の置かれた状況により、関係機関が連携して支援につなげることが重要です。

第4章 調査書

ヤングケアラーとは、大人がするような家事や家族の世話などをしている18歳未満の子どものことです。

このアンケート調査での家事や家族の世話は、家庭での「お手伝い」とは違い、重い負担があるもののことを言います。

次の例を参考にしてお答えください。

【ヤングケアラーの例】

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どものことをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : Izumi Shiga

第4章 調査書

問1 あなたの学年を教えてください。（あてはまるもの1つにチェック。）

- 小学校5年生
- 小学校6年生
- 中学校1年生
- 中学校2年生
- 中学校3年生

問2 あなたの性別を教えてください。（あてはまるもの1つにチェック。）

- 男
- 女
- 答えたくない

問3 あなたの健康状態を教えてください。（あてはまるもの1つにチェック。）

- よい
- まあよい
- ふつう
- あまりよくない
- よくない

問4 あなたと一緒に住んでいるのは誰ですか。（あてはまるもの全てにチェック。）

- 父親
- 母親
- 祖父
- 祖母
- 兄
- 姉
- 弟
- 妹
- その他

問5 問4で「その他」を選択した方は、具体的な内容を教えてください。

問6 あなたは「ヤングケアラー」という言葉を、このアンケート調査をする前に聞いた
ことがありましたか。（あてはまるもの1つにチェック。）

- 聞いたことがあり、内容も知っていた（問7へ）
- 聞いたことはあるが、内容は知らなかった（問7へ）
- 聞いたことはなかった（問9へ）

問7 (問6で「聞いたことがあり、内容も知っていた」「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」と答えた人にお聞きします。)

ヤングケアラーという言葉はどこで知りましたか。(あてはまるもの全てにチェック。)

テレビ

雑誌、本

YouTube、SNS、インターネット

広報、チラシ、掲示物

学校

友人、知人から聞いた

その他

問8 問7で「その他」を選択した方は、具体的な内容を教えてください。

問9 家族のなかに、あなたがお世話をしている人はいますか。(あてはまるもの1つにチェック。)

ここでの「お世話」とは、大人がするような家事や家族の世話などのことです。家庭での「お手伝い」とは違い、重い負担があるもののことを言います。表紙の【ヤングケアラーの例】を参考にしてください。

いる(問10へ)

いない(問29へ)

問10 あなたは誰のお世話をしていますか。(あてはまるもの全てにチェック。)

父親

母親

祖父

祖母

兄

姉

弟

妹

その他

問11 問10で「その他」を選択した方は、具体的な内容を教えてください。

第4章 調査書

問12 あなたが家族のお世話をしている内容を教えてください。（あてはまるもの全てにチェック。）

家事（食事の準備や掃除、洗濯）

兄弟姉妹のお世話や送り迎え

入浴やトイレのお世話

1人で外出できない家族の付き添い（通院や買い物など）

感情面のサポート（ぐちを聞く、話し相手になる）

心配で目を離せない家族の見守り

通訳

大人の代わりにお金の管理（銀行からお金を引き出す、支払いをするなど）

薬の管理

その他

問13 問12で「その他」を選択した方は、具体的な内容を教えてください。

問14 あなたは家族のお世話をいつからしていますか。（あてはまるもの1つにチェック。）

小学校入学前

7歳（小学1年）

8歳（小学2年）

9歳（小学3年）

10歳（小学4年）

11歳（小学5年）

12歳（小学6年）

13歳（中学1年）

14歳（中学2年）

15歳（中学3年）

問15 あなたが家族のお世話をしているのはどれくらいですか。（あてはまるもの1つにチェック。）

ほぼ毎日

週に3～5日

週に1～2日

1カ月に数日

問16 あなたは1日何時間くらい家族のお世話をしていますか。（あてはまるもの1つにチェック。）

※日によって異なる場合は、この1か月で最も長かった日の時間を教えてください。

- 1時間くらい
- 2時間くらい
- 3時間くらい
- 4時間くらい
- 4時間以上

問17 家族のお世話をしているために、あなたがやりたくてもできないことはありますか。（あてはまるもの1つにチェック。）

- ある（問18へ）
- ない（問20へ）

問18 （問17で「ある」と答えた人にお聞きします。）あなたができないことは、どのようなことですか。（あてはまるもの全てにチェック。）

- 学校に行きたくても行けない
- どうしても学校を遅刻・早退してしまう
- 宿題や勉強をする時間がとれない
- 眠る時間がたりない
- 友達と遊ぶことができない
- クラブ活動・部活や習い事ができない
- 将来の進路（中学校や高校のこと）が考えられない
- 自分だけの時間がとれない
- その他

問19 問18で「その他」を選択した方は、具体的な内容を教えてください。

問20 あなたは家族をお世話することに、大変さを感じていますか。（あてはまるもの全てにチェック。）

- 体が疲れて大変
- 心が疲れて大変
- 時間がなくて大変
- 誰も助けくれなくて大変
- 大変ではない

第4章 調査書

問21 あなたはお世話をしている家族のことや悩みなどを、誰かに相談したことがありますか。（あてはまるもの1つにチェック。）

ある（問22へ）

ない（問24へ）

問22 （問21で「ある」と答えた人にお聞きします。）誰に相談しましたか。（あてはまるもの全てにチェック。）

家族（父親、母親、兄弟姉妹、祖父、祖母）

親せきの人（おじ、おば）

学校の先生（保健室の先生以外）

保健室の先生

学校の相談員（スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー）

病院の先生や看護師

福祉サービスの人（ヘルパー、ケアマネージャー）

市役所や保健所の人

近所の人

友達

SNSの知り合い

その他

問23 問22で「その他」を選択した方は、具体的な内容を教えてください。

問24 （問21で「ない」と答えた人にお聞きします。）相談していない理由を教えてください。（あてはまるもの全てにチェック。）

誰に相談したらいいかわからない

家族のことなので話しにくい（家族のことを変に思われたくない）

相談したことが家族に知られたくない

相談しても何も変わらないと思う

相談するほどの悩みではないと思う

その他（ ）

問25 問24で「その他」を選択した方は、具体的な内容を教えてください。

問26 学校の先生や周りの大人に助けてほしいこと、あったらいいなと思う支援はありますか。（あてはまるもの全てにチェック。）

自分の状況について話を聞いてほしい

家族のお世話について相談にのってほしい

家族の病気や障害について、わかりやすく説明してほしい

自分が行っているお世話の全てをかわってくれる人やサービスがほしい

自分が行っているお世話の一部をかわってくれる人やサービスがほしい

自由に使える時間がほしい

進路や就職など将来の相談にのってほしい

勉強など学習のサポートがほしい

家族がお金に困っているので支援してほしい

分からない

特にない

その他

問27 問26で「その他」を選択した方は、具体的な内容を教えてください。

問28 あなたは自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。（あてはまるもの1つにチェック。）

あてはまる

あてはまらない

わからない

問29 このアンケート調査のほかに、あなたが困っていること、相談したいことはありますか。自由に記入してください。

朝霞市

子どもの日常生活に関するアンケート調査
(ヤングケアラー実態調査) 報告書

令和6年2月

【編集・発行】朝霞市こども・健康部こども未来課
朝霞市学校教育部教育指導課
〒351-8501 朝霞市本町1丁目1番1号
Tel:048-463-1111 (代表)